

令和4年5月

令和3年度



恵庭市民意識調査(まちづくりアンケート)

調査結果報告書

恵庭市

目次

1	市民意識調査の実施概要	1
1)	市民意識調査の目的	1
2)	市民意識調査（アンケート調査）の内容	1
(1)	アンケートの内容	1
(2)	アンケートの方法	1
(3)	アンケートの回収期間	1
(4)	アンケートの回収結果	2
(5)	アンケートの集計方法	2
(6)	グラフの作成方法	3
(7)	アンケート調査票	3
2	調査結果の分析	14
1)	回答者の属性について	14
(1)	性別	14
(2)	年齢	14
(3)	恵庭市での居住年数	15
(4)	居住地域	15
2)	まちの印象について	16
問 1.	「恵庭市」の住み心地（一つだけ選択）	16
問 2.	「恵庭市」に住み続けたいか（一つだけ選択）	17
問 3.	「恵庭市」に住み続けたい理由（3つまで選択）	18
3)	防災、福祉、医療、健康について	19
問 4.	災害時における避難場所の認識（一つだけ選択）	19
問 5.	消火器やAEDの使用法の認識（一つだけ選択）	20
問 6.	障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思うか（一つだけ選択）	21
問 7.	官民協働でまちぐるみの福祉ができていると思うか（一つだけ選択）	21
問 8.	認知症への認識（一つだけ選択）	22
問 9.	認知症への不安（すべて選択）	23
問 10.	自身が健康であると感じているか（一つだけ選択）	23
問 11.	運動やスポーツ活動の頻度（一つだけ選択）	24
問 12.	いきがいについて（すべて選択）	25
4)	文化、子どもについて	26
問 13.	恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちと思うか（一つだけ選択）	26
問 14.	子育て環境が整っていると思うか（一つだけ選択）	26
問 15.	子育てに関する情報を入手しやすいまちと思うか（一つだけ選択）	26
5)	産業、経済、観光、農業について	28
問 16.	恵庭市が様々な立場の人の就労の場があるまちと思うか（一つだけ選択）	28
問 17.	市内で提供される商品やサービスを利用したいと思うか（一つだけ選択）	28
問 18.	恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができるか（一つだけ選択）	28

問 19. 農畜産物の購入について（一つだけ選択）	30
6) 都市基盤、生活環境、自然環境について	31
問 20. 恵庭市雪対策基本計画の認識（一つだけ選択）	31
問 21. 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うか（一つだけ選択）	32
問 22. ごみマナー向上・リサイクル推進を意識しているか（一つだけ選択）	32
問 23. 節電を意識しているか（一つだけ選択）	32
問 24. 水道水の安定供給が行われていると思うか（一つだけ選択）	32
問 25. 大雨時においても安全・安心な生活が確保されていると思うか（一つだけ選択）	32
問 26. 花植え、美化・清掃活動への参加・協力の経験はあるか（一つだけ選択）	35
7) 行政サービス、協働について	36
問 27. 恵庭市のホームページのわかりやすさ（一つだけ選択）	36
問 28. 恵庭市の行政運営について（一つだけ選択）	37
問 29. 恵庭市政に関する仕組みについて（一つだけ選択）	38
問 30. まちづくり基本条例の認識（一つだけ選択）	39
問 31. 男女共同参画社会への認識（一つだけ選択）	40
8) 公共施設について	41
問 32. 公共施設の利用（一つだけ選択）	41
問 33. 公共施設を利用する理由（すべて選択）	42
問 34. 公共施設を利用しない理由（すべて選択）	43
問 35. 公共施設の整備（一つだけ選択）	44
9) 行政手続き・デジタル化・マイナンバーについて	44
問 36. 市役所窓口の一本化（一つだけ選択）	45
問 37. 使用できるインターネット情報機器について（すべて選択）	45
問 38. ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野（3つまで選択）	46
問 39. 充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービス（すべて選択）	47
問 40. マイナンバーカードの利活用（一つだけ選択）	48
問 41. 市政全般についての意見（自由回答）	48

1 市民意識調査の実施概要

1) 市民意識調査の目的

本調査は、恵庭市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るために定めた基本構想である「第5期恵庭市総合計画」に基づいた市政に対する市民意識の把握を目的に、アンケートを実施するものである。アンケート結果を分析、推論することによって恵庭市の強みを活かし、課題を克服するための政策立案に結びつける。

2) 市民意識調査（アンケート調査）の内容

(1) アンケートの内容

市民意識調査は、平成21年度から市民意識の経年的な変化を把握するため、継続的に実施しており、設問項目の大枠は変えずに進めてきたが、過去の設問を採用し続けたきた結果、ここ数年は設問数の肥大化が見られた。その為、今回の調査にあたっては、回答者の負担軽減の観点から、過年度の方針に従いつつも、調査の必要性が低くなった設問の見直しを行った。

また見直しに伴い、国の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」の中で社会のデジタル化を強力に進める旨が明記されていることや、昨今の地方行政のデジタル化の流れを鑑み、行政手続き・デジタル化・マイナンバーについての設問項目を新たに設定した。

アンケート調査票の構成

設問の位置付け	構成
既存 (過年度調査の設問の見直し)	1) 回答者の属性について
	2) まちの印象について
	3) 防災、福祉、医療、健康について
	4) 子ども、文化について
	5) 産業、経済、観光、農業について
	6) 都市基盤、生活環境、自然環境について
	7) 行政サービス、協働について
	8) 公共施設について
新規	9) 行政手続き・デジタル化・マイナンバーについて

(2) アンケートの方法

アンケートの方法は、恵庭市に在住する16歳以上の市民から、対象者の住所に偏りが無い様に配慮をした上で無作為に2,000人を抽出し、調査票の配布を郵送により実施した。回答は、調査票（紙面）への記入・郵送による方法と、web（パソコン・スマホ）での方法の2通りから選択できる仕立てとした。

(3) アンケートの回収期間

アンケートに関する書類は、令和3年12月14日に発送し、回答の締め切りは令和4年1月14日とした。しかし、期日を過ぎても複数の回答があり、できるだけ多くの意見を反映することを優先し、同年2月15日までの回収分を有効回答とした。

(4) アンケートの回収結果

アンケートの回収結果は、有効回収数が 954 票、回収率が 47.7%であった。前回の調査から採用した web による回答は 253 票で、有効回収数に占める割合は 26.5%であり、前回の令和元年度調査の 83 票、10.6%に比べ大きく伸びた。

過年度に実施した各調査では、回収率は 50%前後で、前回の令和元年度調査が 39.3%と回収率が一番低い結果となっていたが、今回の調査は例年に近い回収率となった。

アンケート調査の回収率

年度		有効回収数	回収率 (%)
今回調査	令和 3 年度	954 票 (調査票 : 701 票、web : 253 票)	47.7 (調査票 : 73.5、web : 26.5)
	令和元年度	786 票 (調査票 : 703 票、web : 83 票)	39.3 (調査票 : 89.4、web : 10.6)
過年度調査	平成 30 年度	1049 票	52.5
	平成 26 年度	887 票	44.5
	平成 25 年度	936 票	47.0
	平成 24 年度	990 票	50.3

(5) アンケートの集計方法

アンケートの集計・分析は、各設問における考察（単純集計）に加え、今年度・令和元年度・平成 30 年度の 3 カ年での経年による比較を行った。集計方法については、有効・無効となる回答等に以下の基準を設定した。

- ・ アンケートの集計数値 (%) は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しないこともある。
- ・ 無回答は除外して集計し、各設問に対する回答数（母数 n）を記載する。
- ・ 単一回答では、2 つ以上選択、または選択がない場合は「無回答」として扱う。
- ・ 複数回答では、3 つまでの回答制限がある設間で 4 つ以上回答がある場合は「すべて回答」、選択がない場合は「無回答」として扱う。
- ・ 複数回答において、矛盾のある選択肢を同時に選択をしている回答は「無回答」として扱う。
- ・ 前問の回答により、回答の必要がない設問を回答している場合は「無回答」として扱う。

また、9) 行政手続き・デジタル化・マイナンバーについて（問 36～問 41）は、上記に追加して、以下の基準も設定する。

- ・ 問 36 において、選択肢 7 を選択した者が複数回答した場合は、選択肢 7 のみ採用。
- ・ 問 37 において、選択肢 5 と 6 の回答は 1 つのみ。複数回答している場合は、選択肢 5 と 6 のみ採用し、選択肢 5 と 6 の双方を選択している場合は、「無回答」とする。
- ・ 問 39 において、選択肢 8 を選択している者が複数回答している場合は、8 のみ採用。
- ・ 問 40 において、選択肢 6 を選択した者が複数回答した場合は、6 のみ採用。

(6) グラフの作成方法

グラフは集計データを基に原則設問ごとに作成した。また、「第5期恵庭市総合計画」にて掲げている基本目標の成果指標に関わる設問等には、数値による比較ができるよう3カ年での経年比較を掲載し、一部設問には分析結果を併せて記載した。

(7) アンケート調査票

調査票は、A4用紙10ページの資料として配布し、回答者の属性に関する設問を含めて全41問からなる内容とした。

恵庭市民意識調査（まちづくりアンケート）調査票

● 最初にあなた自身のことを教えてください。

(1) 差し支えなければ、あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女

(2) あなたの年齢を教えてください。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

(3) あなたが恵庭市に住んで通算何年になるかを教えてください。

1. 5年未満 2. 5年以上～10年未満
3. 10年以上～20年未満 4. 20年以上～30年未満 5. 30年以上

(4) あなたのお住まいの地域を教えてください。

1. 恵庭小学校区（白樺町、末広町、栄恵町、泉町、桜町、京町、漁町、福住町、
緑町、相生町、住吉町、新町、本町、黄金北、黄金中央、上山口）
2. 和光小学校区（戸磯、恵南、和光町、駒場町、黄金南、相生町、住吉町、上山口）
3. 柏小学校区（大町、文京町、牧場、美咲野、幸町、柏木町、北柏木町3丁目、盤尻、島松沢）
4. 若草小学校区（有明町、中島町、恵央町、柏陽町、北柏木町1・2・4・5丁目、西島松）
5. 恵み野小・恵み野旭小学校区（恵み野西、恵み野南、恵み野東、恵み野北、恵み野里美、
南島松、西島松）
6. 島松小学校区（島松寿町、島松仲町、島松東町、島松本町、島松旭町、西島松、南島松、
中島松、下島松、穂栄、北島、林田）
7. 松恵小学校区（漁太、林田、春日、中央、上山口、中島松）

⇒次のページへお進みください

● まちの印象についておたずねします



問1 あなたにとって「恵庭市」の住み心地はどうか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい

問2 あなたは、これからも「恵庭市」に住み続けたいと感じますか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. ずっと住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらかといえば市外へ引っ越したい
4. すぐにでも市外へ引っ越したい

問3 問2で「1.ずっと住み続けたい」「2.どちらかといえば住み続けたい」とご回答いただいた方にお聞きします。あなたが今後も「恵庭市」に住み続けたい理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを三つまで選んでください。

1. 地域に愛着を感じるから
2. 買い物 convenient であるから
3. 大都市や空港に近いから
4. 市内公共交通機関の便が良いから
5. 花や緑が多く自然環境に恵まれているから
6. 消防・防災・防犯体制がしっかりしているから
7. 通勤・通学先が近いから
8. スポーツ施設や文化施設などの公共施設が整っているから
9. 保健・医療・福祉サービスが整っているから
10. 雇用環境が良く、働く機会に恵まれているから
11. 娯楽・スポーツ・学習など余暇を楽しむ機会に恵まれているから
12. 教育環境が整っているから
13. 子育てをしやすい環境が整っているから
14. 地域の近所づきあいなど人間関係が良いから
15. 持ち家があるから（実家がそばにあるから）
16. その他（)

⇒次のページへお進みください

● 防災、福祉、医療、健康について

問4 あなたは、災害時における、お近くの避難場所をご存知ですか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 場所、行き方ともに知っている
2. 場所は知っている
3. 避難場所を指定していることは知っているが、どこかわからない
4. まったくわからない

問5 あなたは、消火器やAEDの使用方法をご存知ですか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 消火器・AEDともに知っている
2. 消火器のみ知っている
3. AEDのみ知っている
4. どちらも知らない

※AEDとは…「突然心臓が止まって倒れてしまった人」の心臓のリズムを、心臓に電気ショックを与えることにより再び正しいリズムに戻し、蘇生するための治療機器。

以下の設問は右の欄から、あてはまると思うものを <u>一つだけ</u> 選び、○をつけてください。		思う	少しあ 思う	思わ あまり ない	思わ ない
問●●	(回答例)	○1	2	3	4
問6	あなたは、障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思いますか。	1	2	3	4
問7	あなたは、恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていますか。	1	2	3	4

問8 あなたは、認知症についてご存知ですか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 病気、その症状ともに知っている
2. 病気は知っているが、その症状までは知らない
3. 病気を知らない

⇒次のページへお進みください



問9 あなたは、認知症に不安を感じていることはありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 家族や親族に迷惑をかける（迷惑をかけたくない）
2. 介護してくれる家族がいない
3. どのような治療・療養になるのかわからない
4. どのような介護が受けられるのかわからない
5. 認知症に伴う費用（医療費、グループホームの入居料など）
6. どこに相談してよいのかわからない
7. その他（)
8. 特に不安はない

問10 あなたは、自分が健康であると感じていますか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 感じている
2. 感じていない

問11 あなたは、この一年で運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 週三回以上
2. 週一回～週二回
3. 週一回より少なく、月一回～三回ほど
4. 月一回未満
5. 定期的に運動はしていない

問12 あなたは、どのようなことでいきがいを感じますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 趣味・娯楽・教養
2. レクリエーション・スポーツ
3. 家族との団らん
4. 仕事や学業
5. ボランティアや地域活動
6. 子育て
7. その他（)
8. いきがいを特に感じてはいない

⇒次のページへお進みください

● 文化、子どもについて

以下の設問は右の欄から、あてはまると思うものを <u>一つだけ</u> 選び、○をつけてください。		思う	少しあ 思う	思わ ない あまり	思わ ない
問13	あなたは、恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思いませんか。	1	2	3	4
問14	あなたは、恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思いませんか。	1	2	3	4
問15	あなたは、恵庭市が子育て世代にとって、子育てに関する各種情報を入手しやすいまちだと思いませんか。	1	2	3	4

● 産業、経済、観光、農業について

以下の設問は右の欄から、あてはまるものと思うものを <u>一つだけ</u> 選び、○をつけてください。		思う	少しあ 思う	思わ ない あまり	思わ ない
問16	あなたは、恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて、様々な立場の人の就労の場があるまちだと思いませんか。	1	2	3	4
問17	あなたは、市内で提供される商品やサービスを利用したいと思いませんか。	1	2	3	4
問18	あなたは、恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思いませんか。	1	2	3	4

問19 あなたは、農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識していますか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. いつも意識している
2. 時々意識している
3. 意識したことがない

● 都市基盤、生活環境、自然環境について

問20 あなたは、安心して暮らせる冬の生活環境をつくるために、除雪や排雪の仕組みを決めた計画（恵庭市雪対策基本計画）があることを知っていますか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 計画、その内容ともに知っている
2. 計画があることは知っているが、その内容までは知らない
3. 計画があることを知らない

⇒次のページへお進みください

以下の設問は右の欄から、あてはまると思うものを <u>一つだけ</u> 選び、○をつけてください。		思う	少しあ 思う	思わ ない あまり	思わ ない
問2 1	あなたは、最寄りの駅周辺に賑わいがあると感じますか。	1	2	3	4
問2 2	あなたは、日常生活の中で、ごみマナー向上・リサイクル推進を意識されていますか。	1	2	3	4
問2 3	あなたは、日常生活の中で、節電を意識されていますか。	1	2	3	4
問2 4	あなたは、安全で良質な水道水の安定供給が行われていると思いますか。	1	2	3	4
問2 5	あなたは、下水道（雨水管）が適切に整備され、大雨時においても安心・安全な生活が確保されていると感じますか。	1	2	3	4

問2 6 あなたは、花を植えたり、地域の公園の美化や清掃などに関する活動に参加・協力したことはありますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. はい
2. いいえ

● 行政サービス、協働について

問2 7 あなたは、恵庭市のホームページについて、わかりやすいと感じますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 大変わかりやすい
2. わかりやすい
3. わかりにくい
4. 非常にわかりにくい
5. 情報発信していることを知らない、利用していない

問2 8 あなたは、恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 大変感じる
2. ある程度感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

⇒次のページへお進みください

問29 あなたは、恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることをご存知ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 仕組みがあること、その内容とも知っている
2. 仕組みがあることは知っているが、その内容までは知らない
3. 仕組みがあることを知らない

※仕組みの例
・審議会への参加
・パブリックコメント
・市長への手紙など

問30 恵庭市まちづくり基本条例は、平成26年1月に施行しております。あなたは、恵庭市まちづくり基本条例があることをご存知ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 条例があること、その内容とも知っている
2. 条例があることは知っているが、その内容までは知らない
3. 条例があることを知らない

※まちづくり基本条例とは…市民・議会・市が「協働」でまちづくりを進めるための基本的なルールを定めたものです。

問31 あなたは、男女共同参画社会への取り組みをご存知ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 取り組みがあること、その内容とも知っている
2. 取り組みがあることは知っているが、その内容までは知らない
3. 取り組みがあることを知らない

● 公共施設について

問32 あなたは、恵庭市の公共施設を日頃、利用していますか。下記の各項目について、最も近いものを右の欄から一つだけ選び、○をつけてください。

公共施設の種類	よく使う	時々使う	使わない あまり	使ったこと がない
・市民文化系施設（市民会館、地区会館など）	1	2	3	4
・社会教育系施設（図書館、資料館など）	1	2	3	4
・スポーツ・レクリエーション施設（体育館など）	1	2	3	4
・子育て支援施設（保育園、児童館など）	1	2	3	4
・保健・福祉施設（憩の家、保健センターなど）	1	2	3	4
・複合施設（えにあず、黄金ふれあいセンターなど）	1	2	3	4

⇒次のページへお進みください

問33 問32で「よく使う」「時々使う」と回答した施設について、利用している理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 施設が新しい、きれい
2. 地域のコミュニケーションの場となっている
3. 利用料金が安い
4. バリアフリー化が行き届いている
5. 自宅から施設までの距離が近い
6. 施設までの交通の便が良い（バスや電車などの公共交通機関で行ける）
7. 駐車場が完備されている（駐車台数が多い）
8. 休日や夜遅い時間帯も開設しているため、使いやすい
9. 目的に適う施設が他にない
10. その他（ ）

問34 問32で「あまり使わない」「使ったことがない」と回答した施設について、利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 施設が古い、せまい
2. 利用者が少なく、閑散としている
3. 利用料が高い
4. バリアフリー化に対応していない
5. 自宅から施設までの距離が遠い
6. 施設までの交通の便が良くない（バスや電車などの公共交通機関では行けない）
7. 駐車場がない（駐車台数が少ない）
8. 開設時間が短く、使いにくい
9. 他の自治体や民間の施設を利用している
10. 施設を利用する用事がない
11. その他（ ）

問35 少子高齢化と人口減少が進む中で、既存の公共施設をそのまま維持することは難しくなります。これからも公共施設をよりよく利用していただくためには、どのような整備が望ましいと思いますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 似ている施設は1つに集約・複合化し、管理費等を軽減する
2. 既存の建物は、改修により長く利用し続ける
3. 利用率の低い施設は廃止し、残りの施設の整備を手厚くする
4. 近接する自治体と共同で建設・運営を行い、財源の効率化を図る
5. 民間企業に運営を委託する
6. 利用料を引き上げ、施設のサービスや機能の充実にあてる

⇒次のページへお進みください

● 行政手続き・デジタル化・マイナンバーについて

問36 市役所窓口の一本化（一箇所で複数の手続きが可能なサービス）について、優先して進めて欲しいと思うものは何ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 引越に伴う手続き（転居届、国民健康保険、介護保険、医療助成、児童手当などの手続き）
2. 婚姻関係に伴う手続き（婚姻届、印鑑登録、国民健康保険、医療助成などの手続き）
3. 出生に伴う手続き（出生届、国民健康保険、医療助成、児童手当などの手続き）
4. 死亡に伴う手続き（国民健康保険、介護保険、医療助成、市税、市営墓地などの手続き）
5. 転職に伴う手続き（国民健康保険、国民年金などの手続き）
6. その他（ ）
7. 一本化を進める必要はない（それぞれの窓口で手続きを実施）

問37 あなたが、自宅等で自分で使用できるインターネット情報機器は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. パソコン
2. スマートフォン・タブレット端末
3. スマートフォン以外の携帯電話
4. その他の情報機器
5. 使用していないが、今後利用（購入）を検討している
6. 使用していないし、今後も利用する予定はない

問38 市の施策の中で優先的にICT（情報通信技術）の利活用が進むことを期待する分野は何ですか。次の中からあてはまるものを三つまで選んでください。

1. 保健・医療・介護・福祉関連
2. 保育・子育て・学校教育関連
3. 高齢者・障がい者福祉関連
4. 防犯・交通安全対策関連
5. 消防・防災関連
6. 環境・ごみ対策関連
7. 移住・リモートオフィス関連
8. 観光・商工業関連
9. その他（ ）

⇒次のページへお進みください

※ICT（情報通信技術）…… Information and Communications Technologyの略。

情報技術を使ってどのように人々の暮らしを豊かにしていくかという活用方法のことで、人とインターネットを繋ぐことで、コミュニケーションの手助けをすることも含まれます。（活用事例：オンライン診断、テレワーク、オンライン授業など）

問39 充実するべきと思うICT（情報通信技術）を使った行政サービスは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 自宅のパソコンやスマートフォンから市役所の手続きができる仕組み（電子申請）
2. 窓口手数料をクレジットカードや電子マネーで支払うことができる仕組み
3. 市が保有する各種データのうち、個人情報など非公開情報ではないものをオープンデータとして公開する仕組み
4. 災害時に避難所（小中学校など）で使える公衆無線LANの整備
5. 市役所への問い合わせに対応できる自動応対システム
6. 子どもたちへのICT化普及
7. その他（)
8. 特にない

問40 マイナンバーカードの利活用について、優先して進めて欲しいと思うことは何ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 本人認証（なりすまし防止）機能を用いたオンライン行政手続
2. カード情報の利用による各種申請書の記入省略
3. 災害時の避難所等での個人証明（避難所の入退室管理、支援物資の受取など）
4. 市独自のポイントカードとしての利用（ボランティア・ウォーキングポイントなど）
5. その他（)
6. 市で利活用を進める必要はない

問41 市政全般についてお気づきの点がありましたら、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

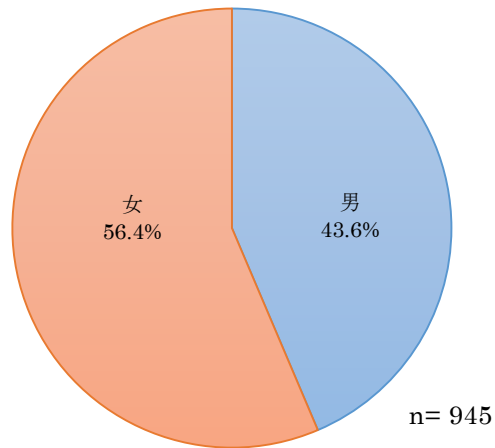
以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

2 調査結果の分析

1) 回答者の属性について

(1) 性別

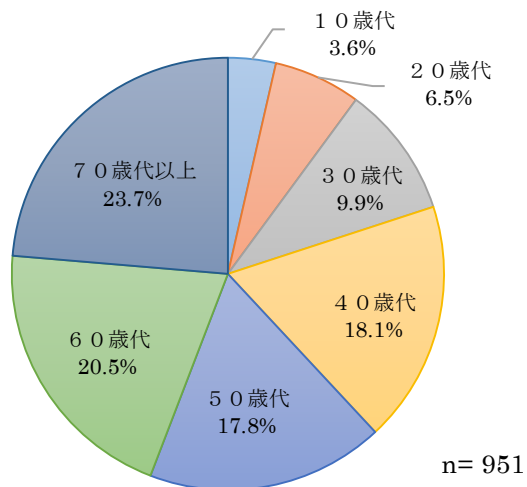
- ・ 回答者の性別は、「男性」が43.6%、「女性」が56.4%であった。
- ・ 「女性」の回答者が、「男性」よりも13%程度多かった。



回答者の性別

(2) 年齢

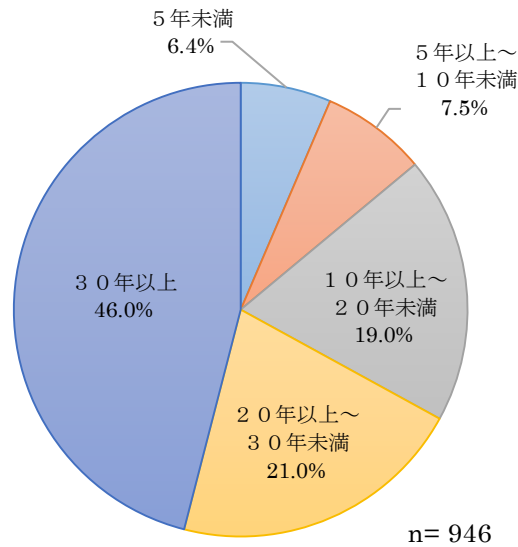
- ・ 回答者の年齢は、「70歳代以上」が23.7%で最も多く、次いで「60歳代」が20.5%と高齢者の回答が多かった。
- ・ 「10歳代」は3.6%、「20歳代」は6.5%と、回答者に占める割合が少なかった。



回答者の年齢

(3) 恵庭市での居住年数

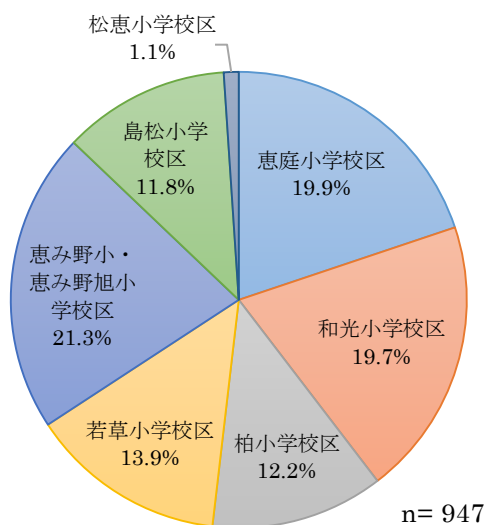
- ・ 回答者の恵庭市での居住年数は、「30年以上」が46.0%で最も多く、「20年以上～30年未満」が21.0%、「10年以上～20年未満」が19.0%と続いた。
- ・ 回答者の割合としては、居住年数が長い人が多い結果となった。



回答者の恵庭市在住年数

(4) 居住地域

- ・ 回答者の居住地域は、「恵み野小・恵み野旭小学校区」が21.3%で最も多く、次いで「恵庭小学校区」が19.9%、「和光小学校区」が19.7%であった。

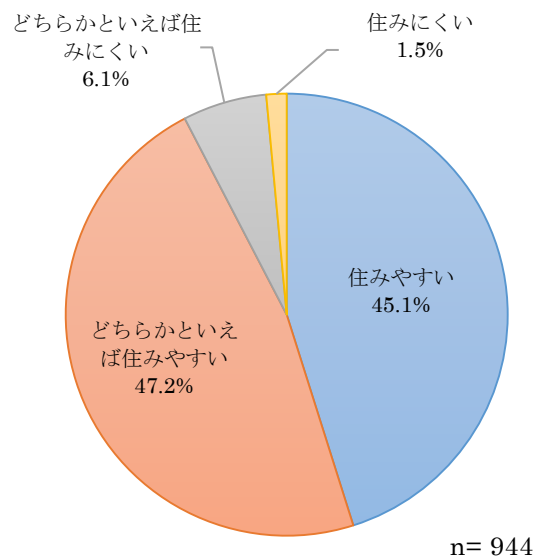


回答者の居住地域

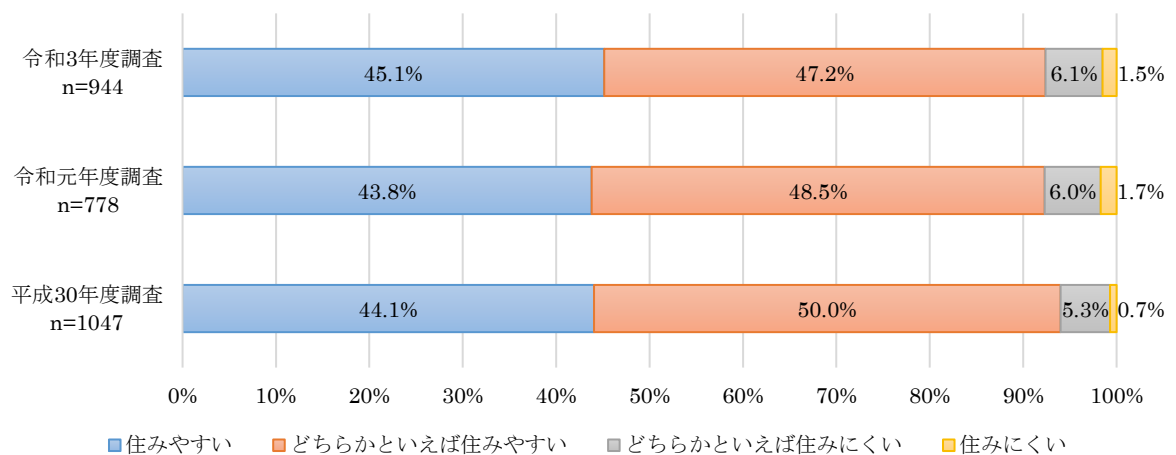
2) まちの印象について

問1. 「恵庭市」の住み心地（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市の住み心地は、「どちらかといえば住みやすい」が 47.2%、「住みやすい」が 45.1%であった。
- ・ 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は 92.3%となり、現状の居住環境に対して高い評価が得られた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は平成30年度調査が 94.1%、令和元年度調査が 92.3%、令和3年度調査が 92.3%といずれも評価が高く、ほとんど変化はなかった。



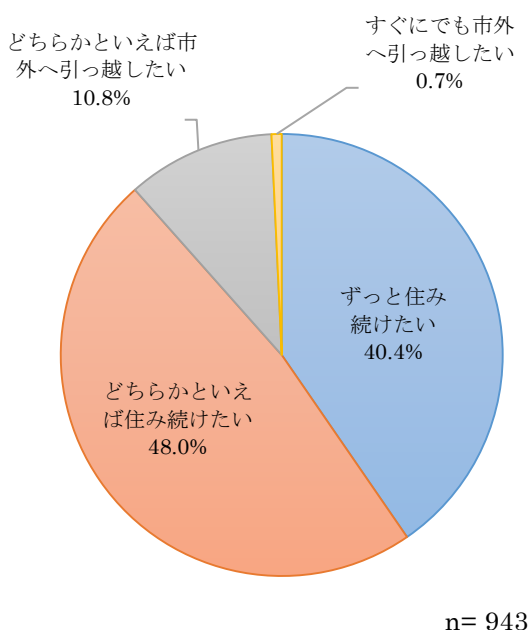
恵庭市の住みやすさについて



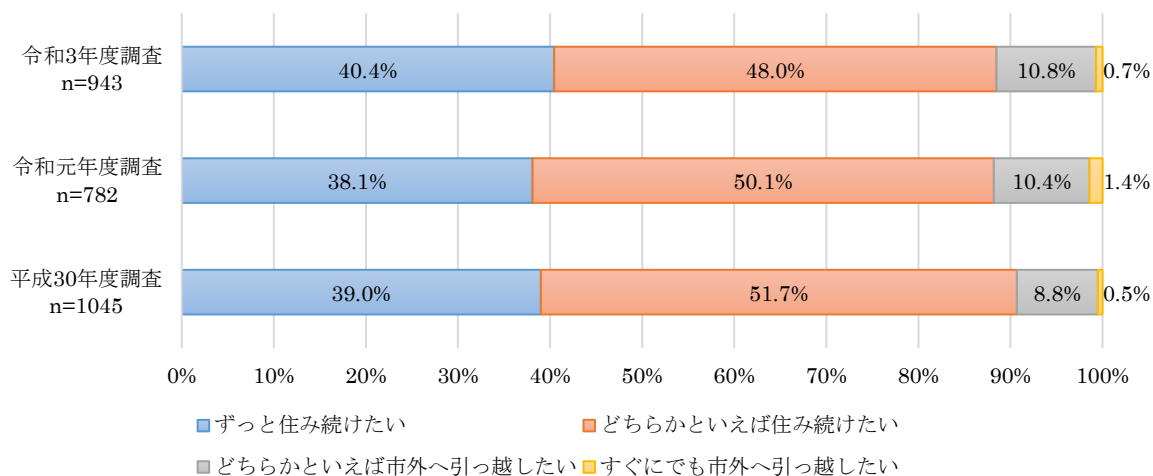
恵庭市の住みやすさについて (3カ年での経年比較)

問2. 「恵庭市」に住み続けたいか（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市への永住に対しては、「どちらかといえば住み続けたい」が48.0%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が40.4%であった。
- ・ 「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は88.4%であり、定住志向の高さが確認できた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は平成30年度調査が90.7%、令和元年度調査が88.2%、令和3年度調査が88.4%といずれも評価が高く、ほとんど変化はなかった。



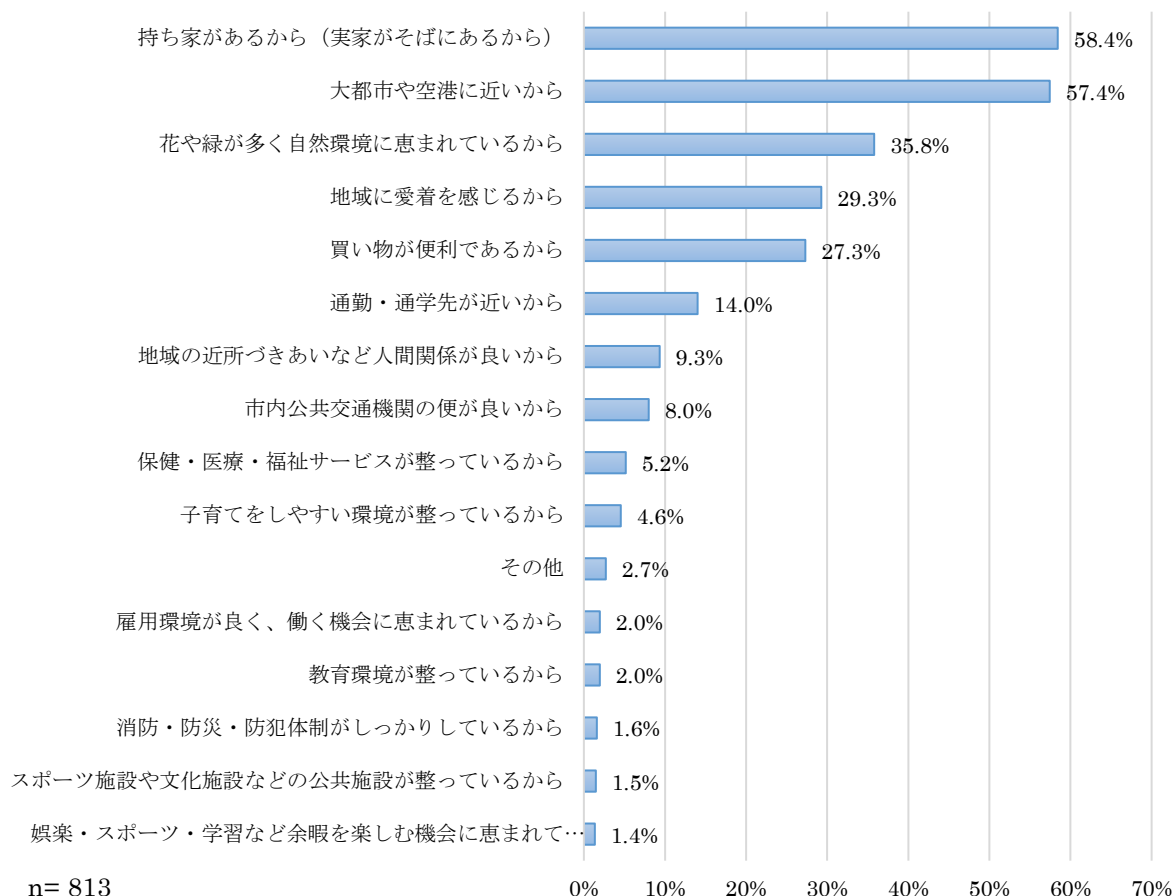
恵庭市への永住について



恵庭市への永住について（3カ年での経年比較）

問3. 「恵庭市」に住みたい理由（3つまで選択）

- ・ 恵庭市に住みたい理由では、「持ち家があるから（実家がそばにあるから）」が58.4%で最も多く、「大都市や空港に近いから」も57.4%と多くの回答が得られた。
- ・ 次いで「花や緑が多く自然環境に恵まれているから」が35.8%、「地域に愛着を感じるから」が29.3%と、郊外居住地としての利便性の高さを評価する回答が上位を占めた。
- ・ 対して、回答が少なかったのはスポーツ、文化などの施設、娯楽などの余暇に関する内容であった。



恵庭市に住みたい理由

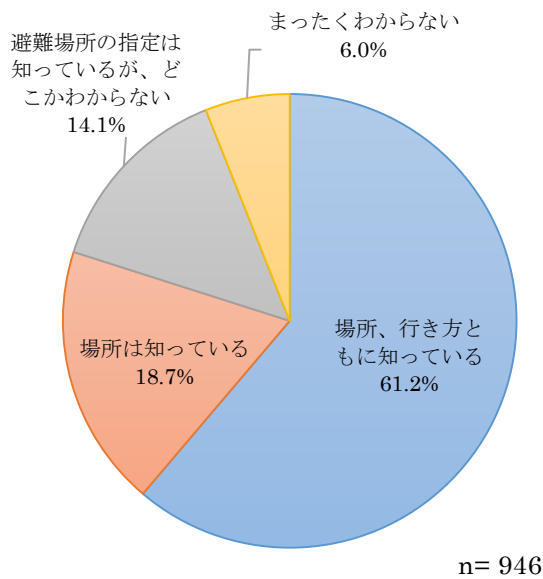
<その他の主な内容>

- ・ 「気候・環境（雪・災害が少ない）」など。

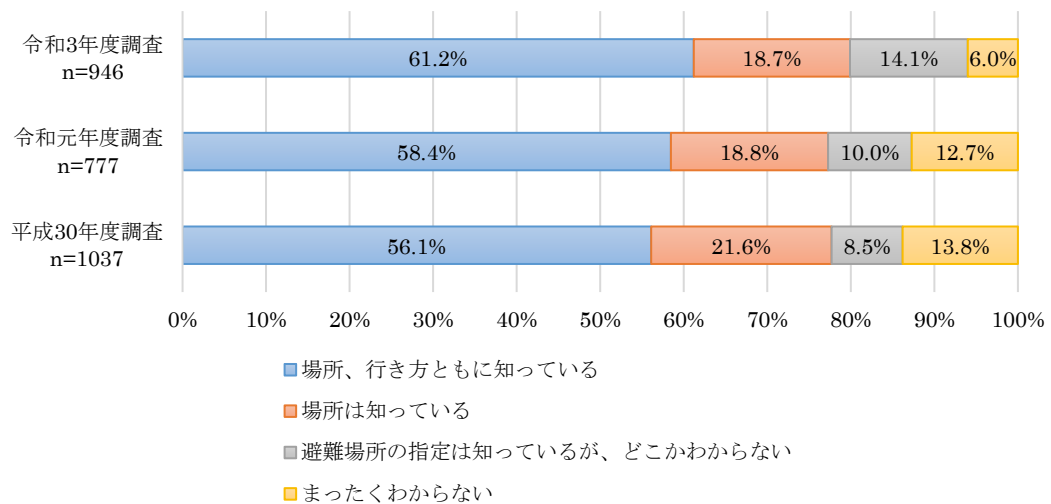
3) 防災、福祉、医療、健康について

問4. 災害時における避難場所の認識（一つだけ選択）

- ・ 災害時における近所の避難場所については、「場所、行き方ともに知っている」が61.2%で最も多かった。
- ・ 「避難場所の指定は知っているが、どこかわからない」は14.1%であり、「まったくわからない」の6.0%を上回った。
- ・ 「場所、行き方ともに知っている」の回答率は、平成30年度は56.1%、令和元年度は58.4%であったが、令和3年度は61.2%であり、認識が高まっていることが分かった。



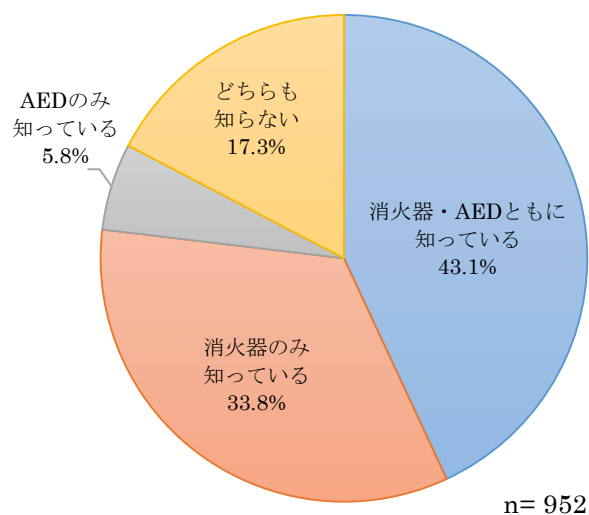
避難場所に対する認識



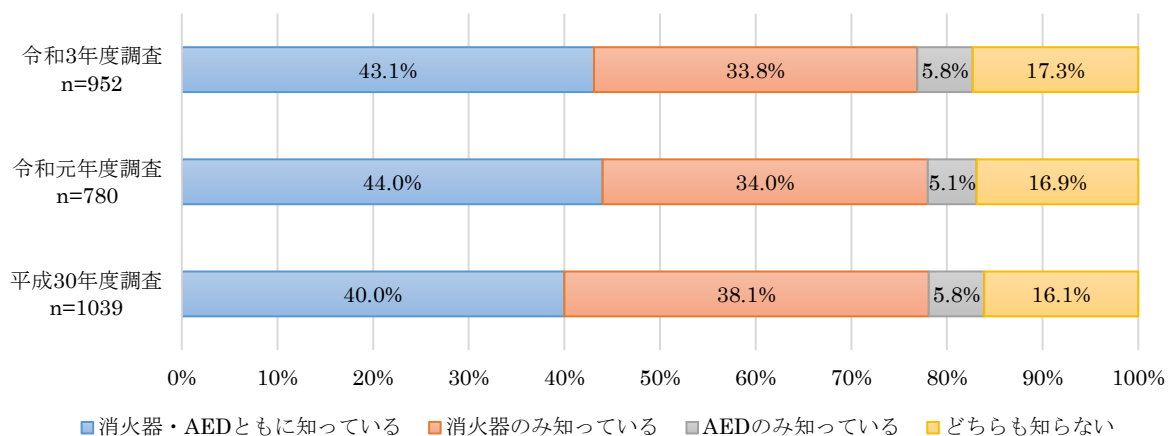
避難場所に対する認識（3カ年での経年比較）

問5. 消火器やAEDの使用方法の認識（一つだけ選択）

- ・ 消火器やAEDの使用方法については、「消火器・AEDともに知っている」は43.1%で最も多かった。
- ・ 「消火器のみ知っている」は33.8%、「AEDのみ知っている」は5.8%であり、「どちらも知らない」は17.3%であった。



消火器やAEDの使用方法に対する認識



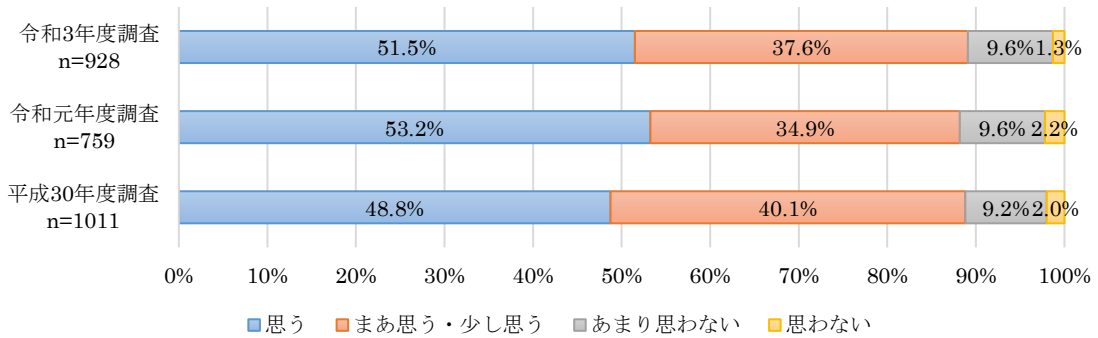
消火器やAEDの使用方法に対する認識（3カ年での経年比較）

問6. 障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思うか（一つだけ選択）

問7. 官民協働でまちぐるみの福祉ができていると思うか（一つだけ選択）

【問6】

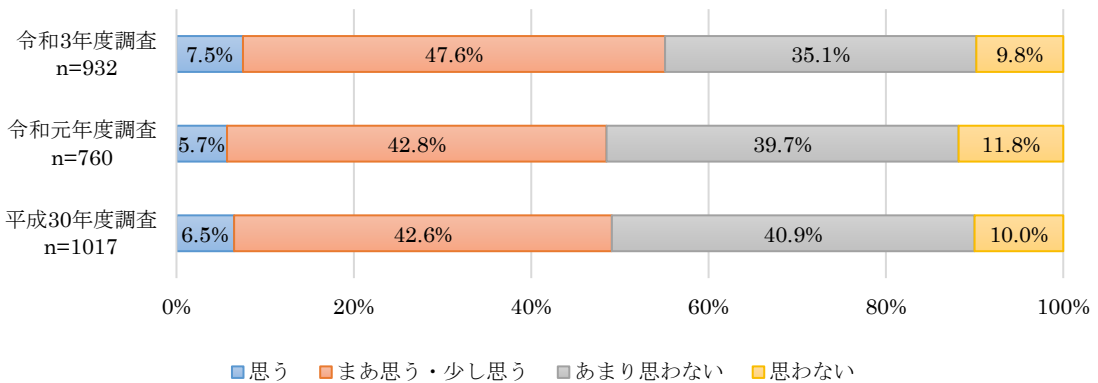
- ・ 障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思うかについては、「思う」が51.5%、「まあ思う・少し思う」が37.6%であり、肯定側の回答は89.1%となった。
- ・ 「あまり思わない」は9.6%、「思わない」は1.3%と、否定側の回答は10%程度だった。



障がいのある人が日常生活上の困りごとを感じていると思う市民の割合
(3カ年での経年比較)

【問7】

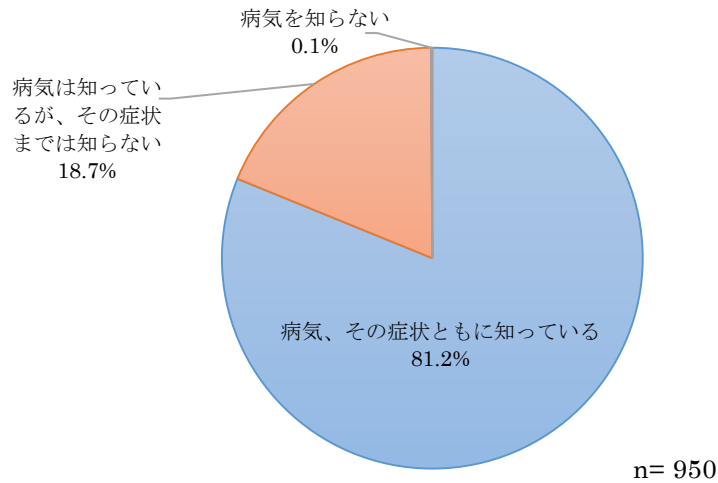
- ・ 恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていると思うかについては、「まあ思う・少し思う」は47.6%で最も多かったが、「思う」は7.5%で最も少なかった。
- ・ 「あまり思わない」は35.1%、「思わない」は9.8%であり、否定側の回答が44.9%と肯定側を下回った。



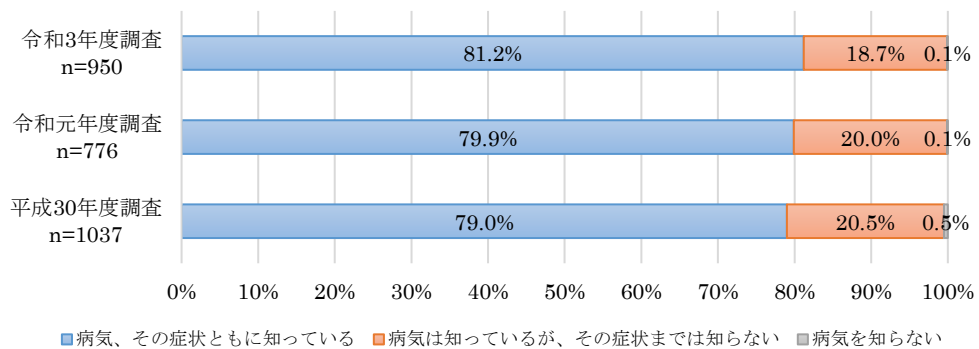
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合
(3カ年での経年比較)

問8. 認知症への認識（一つだけ選択）

- ・ 認知症については、「病気、その症状ともに知っている」が81.2%で最も多く、次いで「病気は知っているが、その症状までは知らない」が18.7%であった。
- ・ 「病気を知らない」は0.1%であり、多くの回答者が認知症の基礎的な情報までは認識しているといえる。



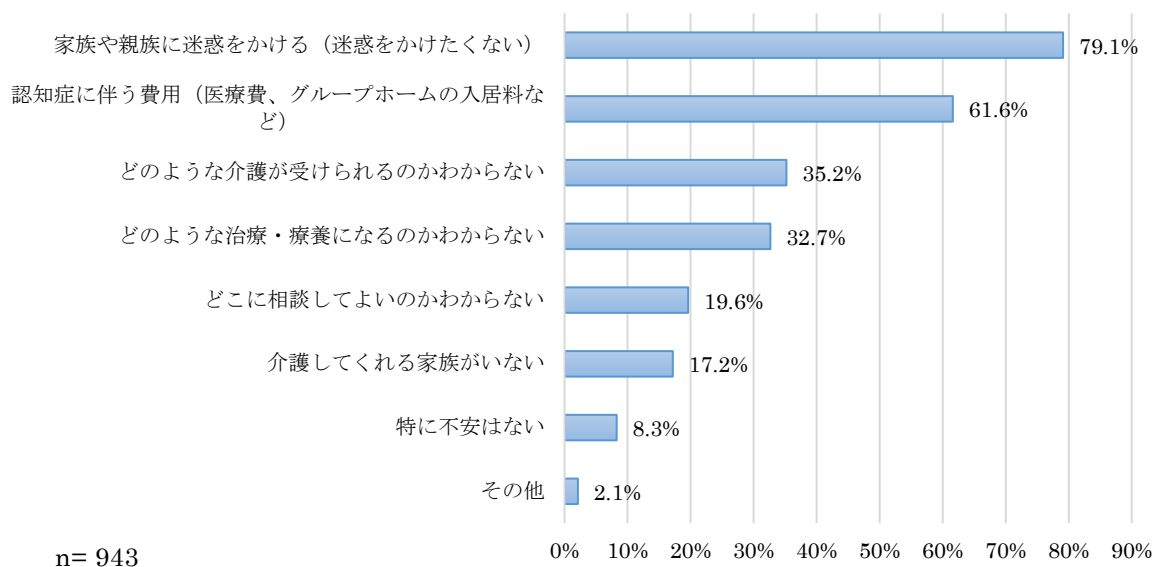
認知症に対する認識



認知症に対する認識（3カ年での経年比較）

問9. 認知症への不安（すべて選択）

- ・ 認知症に対して感じている不安では、「家族や親族に迷惑をかける（迷惑をかけたくない）」が 79.1%で最も多く、「認知症に伴う費用（医療費、グループホームの入居料など）」が 61.6%、「どのような介護が受けられるのかわからない」が 35.2%で続いた。
- ・ 「特に不安はない」は 8.3%で、「その他」の 2.1%を除いた項目のなかでは最も回答が少なかった。



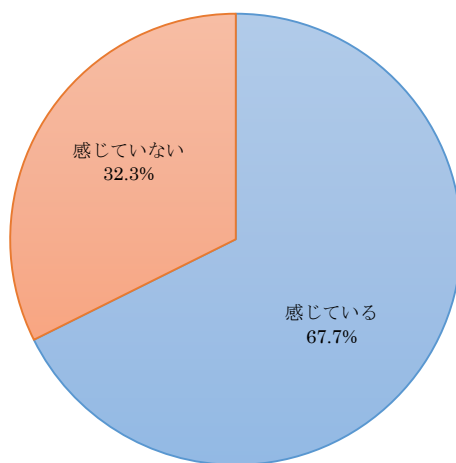
認知症に対する不安の内容

<その他の主な内容>

- ・ 「介護の施設に関する不安」、「今のところ大丈夫」など。

問10. 自身が健康であると感じているか（一つだけ選択）

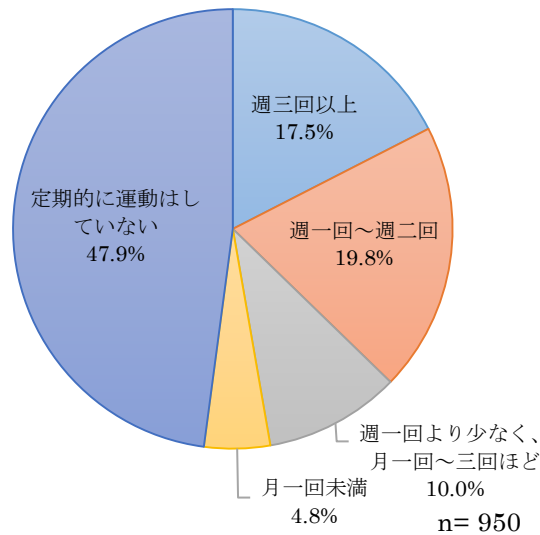
- ・ 自身が健康であると感じているかでは、「感じている」が 67.7%であり、「感じていない」の 32.3%を上回った。



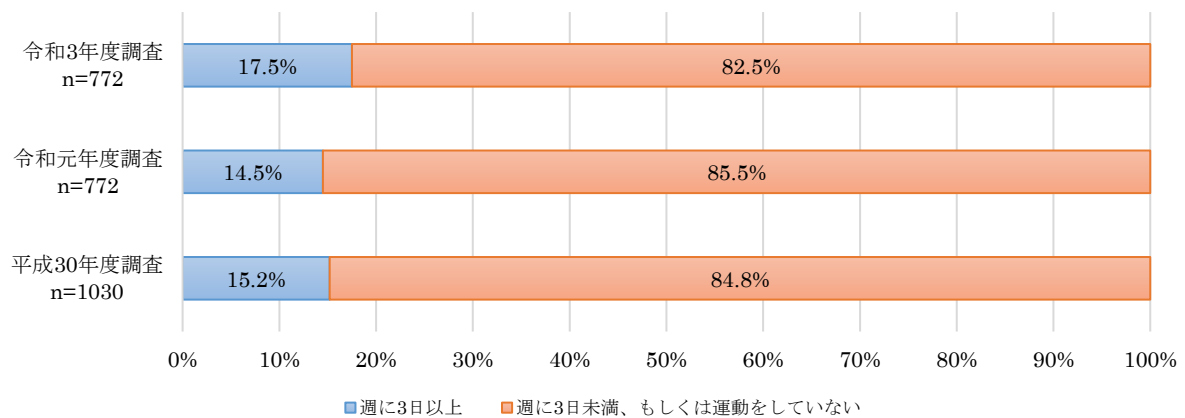
自身が健康であると感じているかの内容

問11. 運動やスポーツ活動の頻度（一つだけ選択）

- ・ 最近一年の運動やスポーツ活動では、「定期的に運動はしていない」が47.9%で最も多かった。
- ・ 実施している回答者については、頻度としては「週一回～週二回」が19.8%で最も多く、次いで「週三回以上」が17.5%で、一番回答が少なかったのは「月一回未満」の4.8%であった。



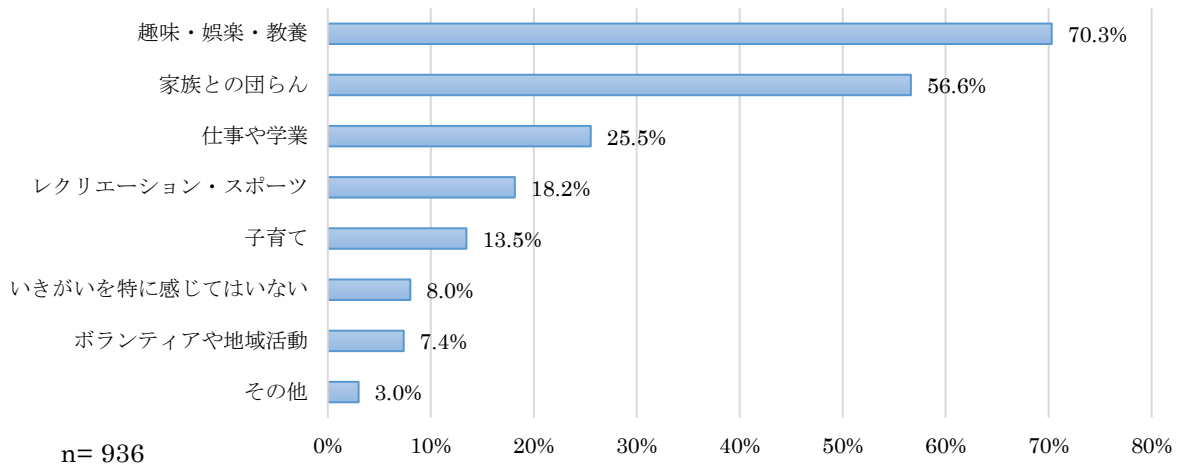
この一年での運動やスポーツ活動の頻度



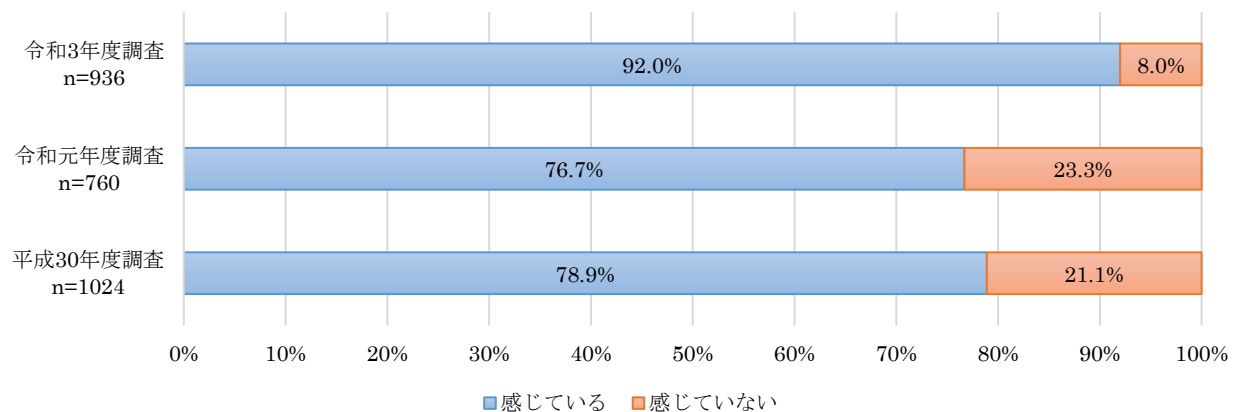
この一年で運動やスポーツを週3日以上実施している市民の割合
(3カ年での経年比較)

問12. いきがいについて（すべて選択）

- ・ いきがいの内容では、「趣味・娯楽・教養」が70.3%で最も多く、次いで「家族との団らん」が56.6%と、2項目が特に多い結果となった。
- ・ 「いきがいを特に感じていない」は8.0%で、全体の1割以下と少なく、何らかの生きがいを感じている回答者が9割程度と大半を占めた。



いきがいについての回答者の具体的内容



生きがいを感じている市民の割合（3カ年での経年比較）

<その他の主な内容>

- ・ 「友人との付き合い」、「ペット」など。

4) 文化、子どもについて

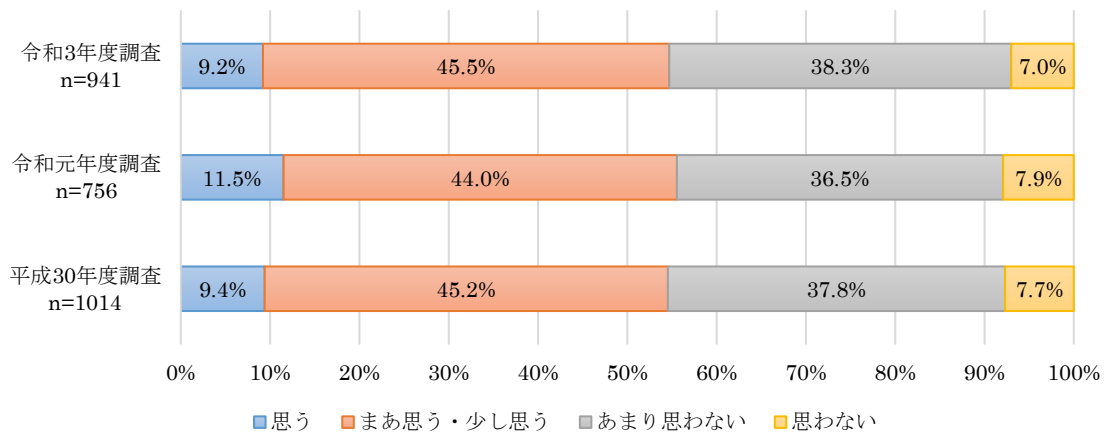
問13. 恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちと思うか（一つだけ選択）

問14. 子育て環境が整っていると思うか（一つだけ選択）

問15. 子育てに関する情報を入手しやすいまちと思うか（一つ選択）

【問 13】

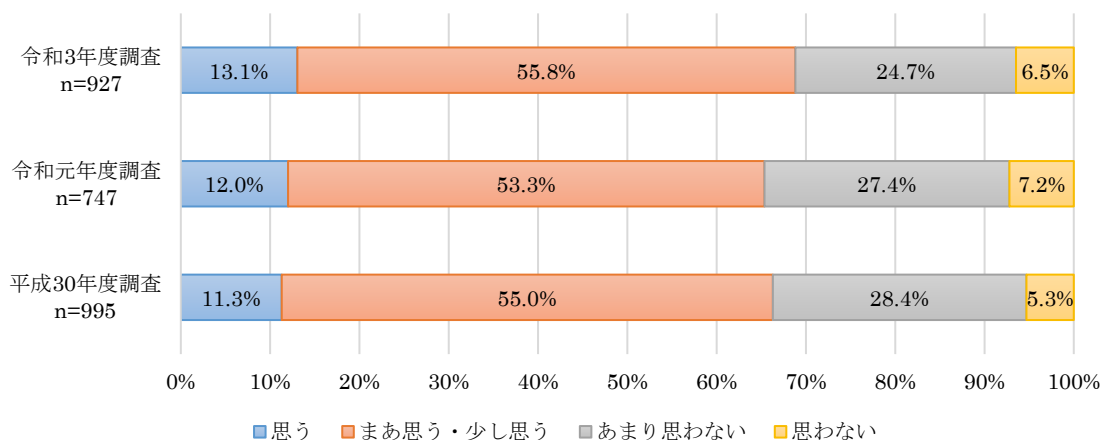
- ・ 恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思うかについては、「思う」が9.2%、「まあ思う・少し思う」が45.5%であり、肯定側の回答は54.7%となった。
- ・ 「あまり思わない」は38.3%、「思わない」は7.0%であり、否定側の回答は45.3%と肯定側よりも少なかった。



ふるさと意識が高いまちだと感じる市民の割合
(3カ年での経年比較)

【問 14】

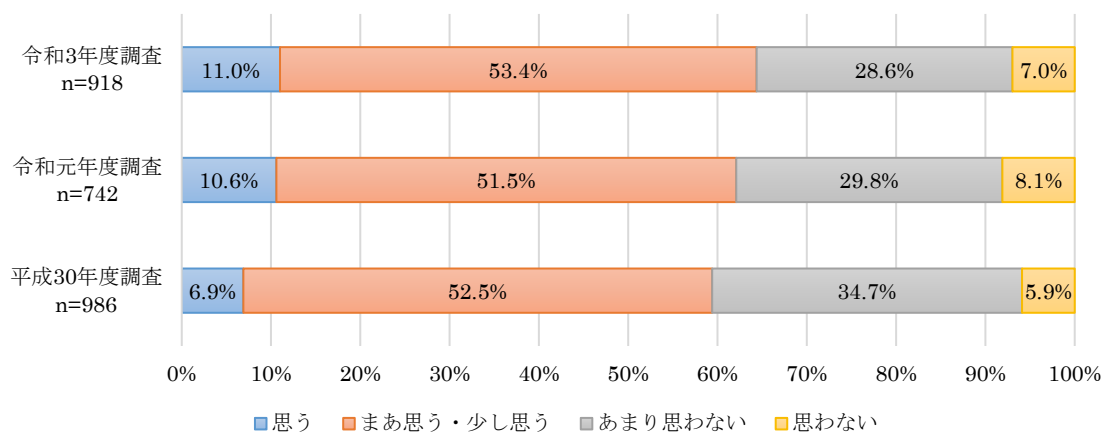
- ・ 恵庭市の子育て環境が整っていると思うかについては、「思う」が13.1%、「まあ思う・少し思う」が55.8%であり、肯定側の回答は68.9%となった。
- ・ 「あまり思わない」は24.7%、「思わない」は6.5%であり、否定側の回答は31.2%と肯定側よりも少なかった。



子育て環境が整っていると思う市民の割合
(3カ年での経年比較)

【問 15】

- ・ 恵庭市が子育てに関する情報を入手しやすいまちと思うかについては、「思う」が 11.0%、「まあ思う・少し思う」が 53.4%であり、肯定側の回答は 64.4%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 28.6%、「思わない」は 7.0%であり、否定側の回答は 35.6%と肯定側よりも少なかった。



子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う市民の割合
(3カ年での経年比較)

5) 産業、経済、観光、農業について

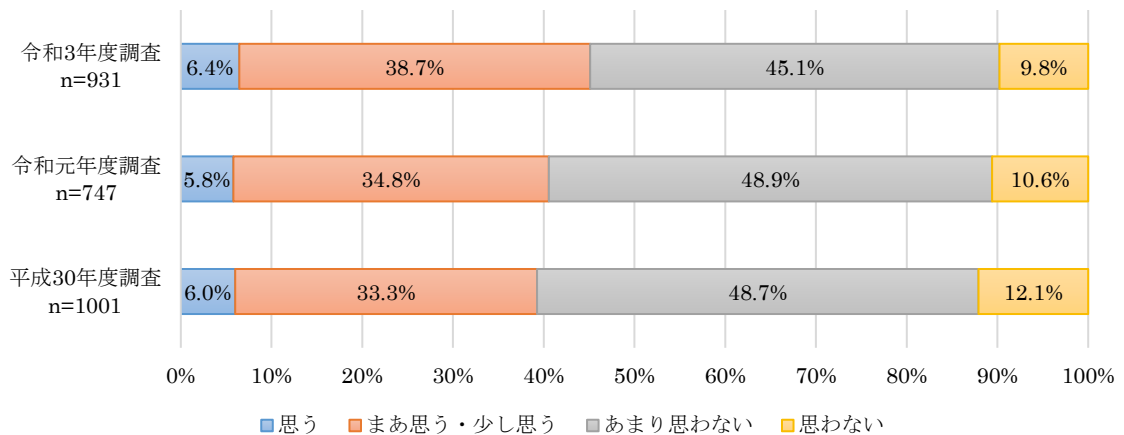
問16. 恵庭市が様々な立場の人の就労の場があるまちと思うか（一つだけ選択）

問17. 市内で提供される商品やサービスを利用したいと思うか（一つだけ選択）

問18. 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができるか（一つだけ選択）

【問 16】

- ・ 恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思うかについては、「あまり思わない」が 45.1%で最も多く、「思わない」とあわせると否定側の回答は 54.9%であった。
- ・ 「思う」が 6.4%と最も少なく、「まあ思う・少し思う」が 38.7%であり、肯定側の回答は 45.1%であった。

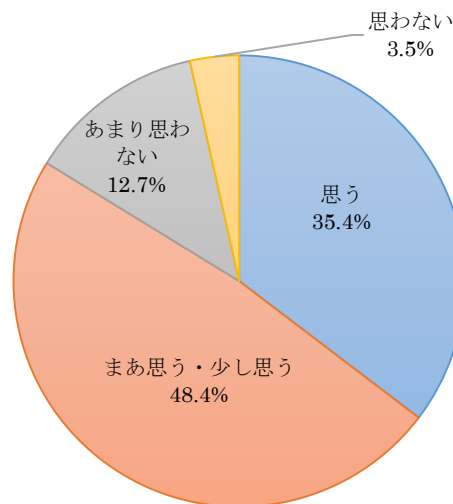


様々な立場の人の就労の場があると感じている市民の割合

(3カ年での経年比較)

【問 17】

- ・ 市内で提供される商品やサービスを利用したいと思うかについては、「まあ思う・少し思う」が 48.4%で最も多く、「思う」の 35.4%とあわせると肯定側の回答は 83.8%であった。
- ・ 「思わない」が 3.5%と最も少なく、「あまり思わない」が 12.7%であり、否定側の回答は 16.2%であった。

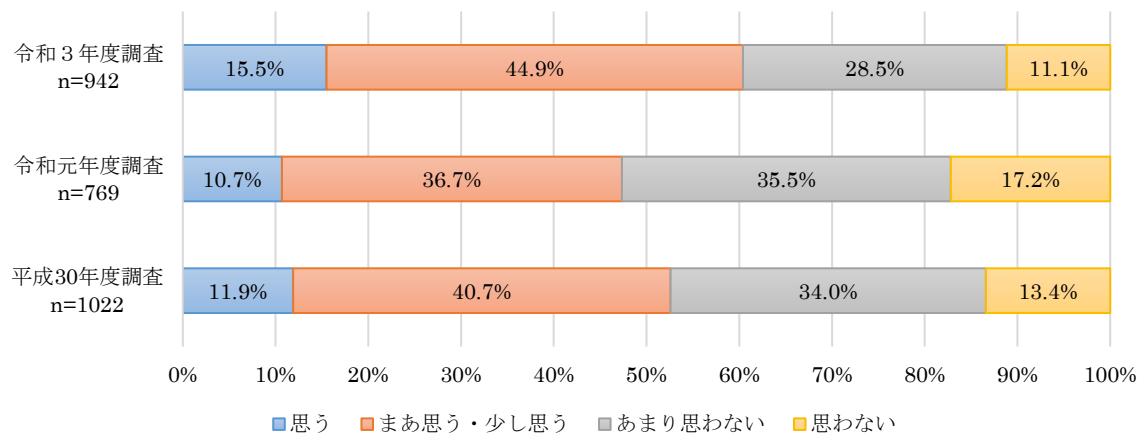


n= 609

市内に魅力的なお店があると思う市民の割合

【問 18】

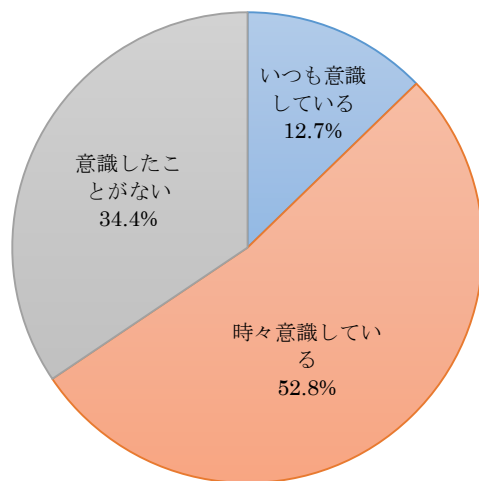
- ・ 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思うかについては、「思う」が15.5%、「まあ思う・少し思う」が44.9%であり、肯定側の回答は60.4%と否定側よりも多かった。
- ・ 「あまり思わない」は28.5%、「思わない」は11.1%であり、否定側の回答は39.6%となった。



恵庭市外の人に恵庭の魅力を伝えることができると思う市民の割合
(3カ年での経年比較)

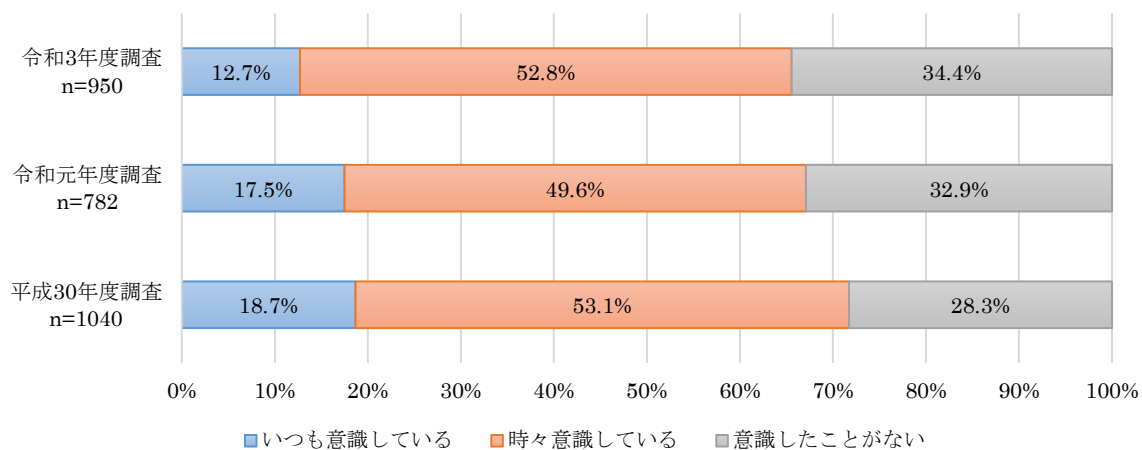
問19. 農畜産物の購入について（一つだけ選択）

- ・ 農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識しているかでは、「時々意識している」が52.8%で最も多かった。
- ・ 「意識したことがない」は34.4%で、「いつも意識している」の12.7%を上回っており、地産地消や地元食材への意識が十分に浸透しているとはいえない状況である。



n= 950

農畜産物購入の際の恵庭産への意識



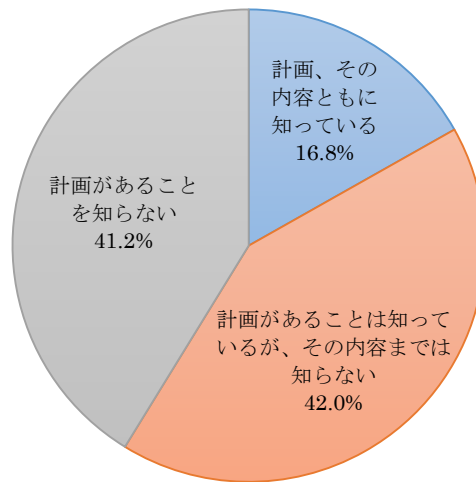
農畜産物購入の際の恵庭産への意識

(3カ年での経年比較)

6) 都市基盤、生活環境、自然環境について

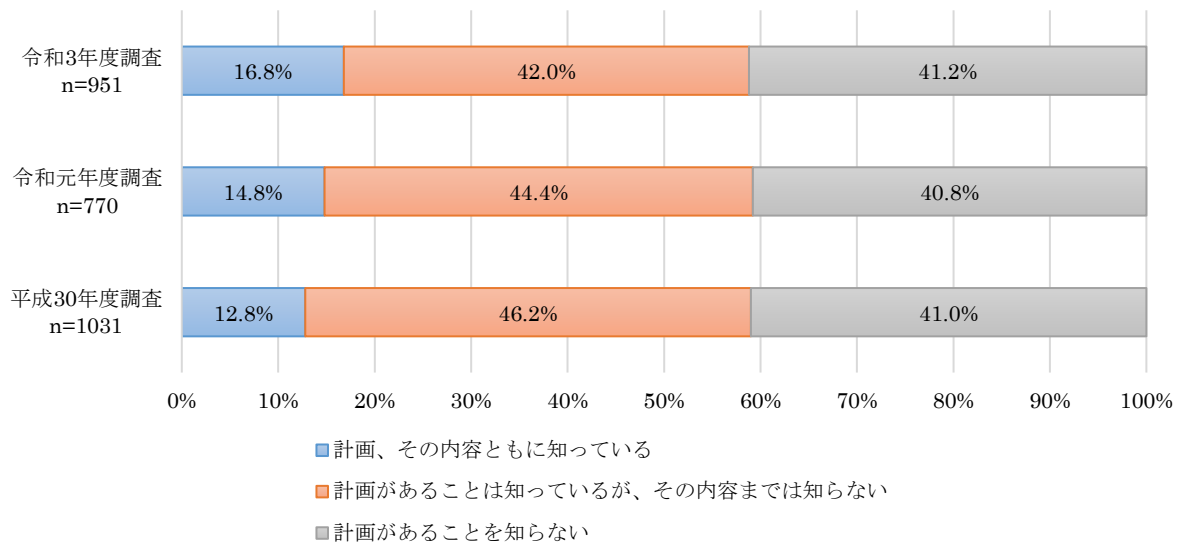
問20. 恵庭市雪対策基本計画の認識（一つだけ選択）

- ・ 除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）については、「計画があることは知っているが、その内容までは知らない」が42.0%で最も多かった。
- ・ 「計画があることを知らない」も41.2%と多い割合を占めているのに対し、内容までを理解している回答者は16.8%であった。



n= 951

除雪や排雪の仕組みをきめた計画に対する認識



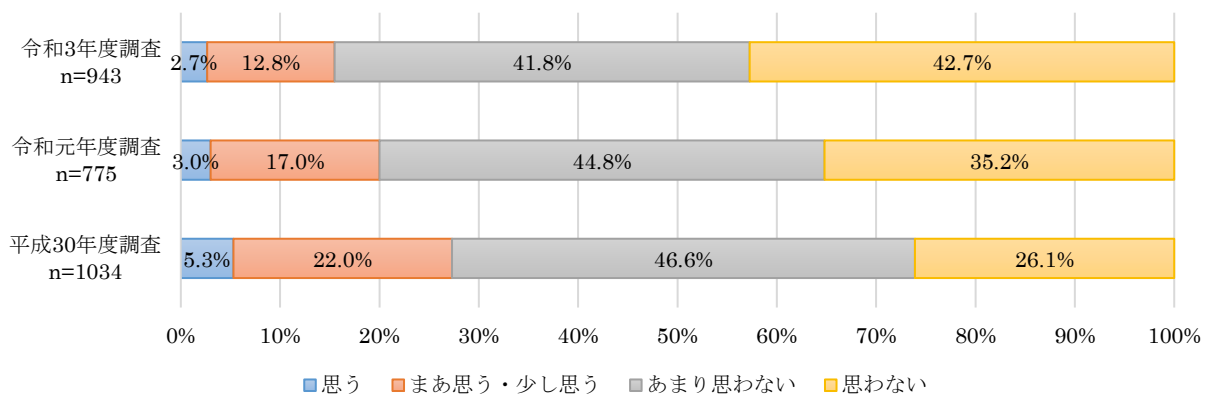
除雪や排雪の仕組みをきめた計画に対する認識

(3カ年での経年比較)

- 問21. 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うか（一つだけ選択）
 問22. ごみマナー向上・リサイクル推進を意識しているか（一つだけ選択）
 問23. 節電を意識しているか（一つだけ選択）
 問24. 水道水の安定供給が行われていると思うか（一つだけ選択）
 問25. 大雨時においても安全・安心な生活が確保されていると思うか（一つだけ選択）

【問 21】

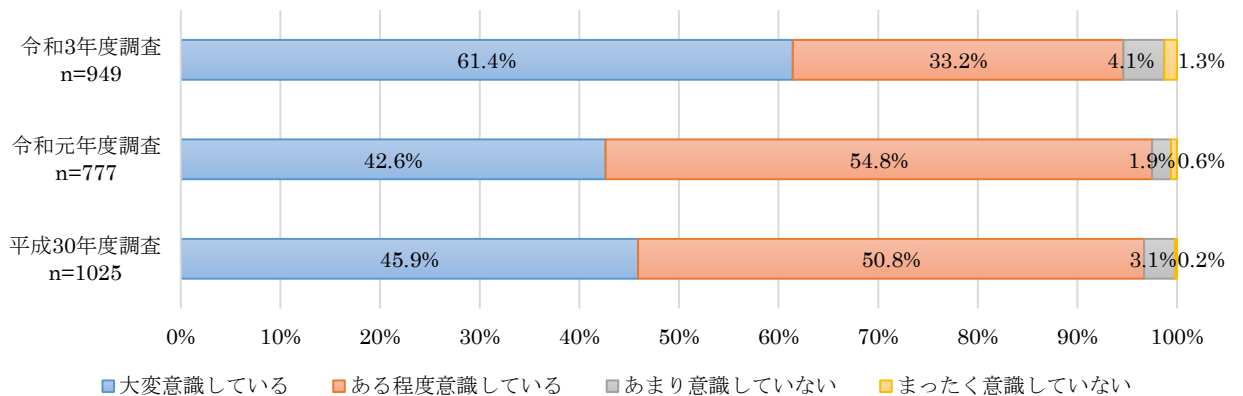
- ・ 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うかについては、「思わない」が 42.7%で最も多く、「あまり思わない」とあわせると否定側の回答は 84.5%であった。
- ・ 「思う」が 2.7%と最も少なく、「まあ思う・少し思う」が 12.8%であり、賑わいがあると思うに対する回答は 15.5%と少なかった。



最寄りの駅周辺に賑わいがあると感じている市民の割合
 (3カ年での経年比較)

【問 22】

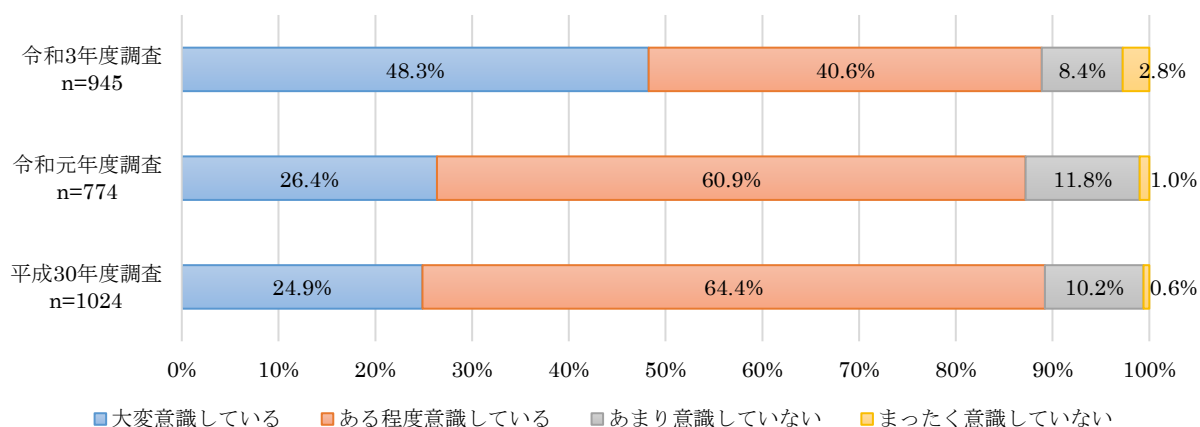
- ・ 日常生活におけるごみマナー向上・リサイクル推進の意識については、「大変意識している」が 61.4%、「ある程度意識している」が 33.2%であった。
- ・ 「あまり意識していない」は 4.1%、「まったく意識していない」は 1.3%しか見られず、ゴミ問題への意識の高さを把握できた。



ごみマナー向上・リサイクル推進に対する意識度
 (3カ年での経年比較)

【問 23】

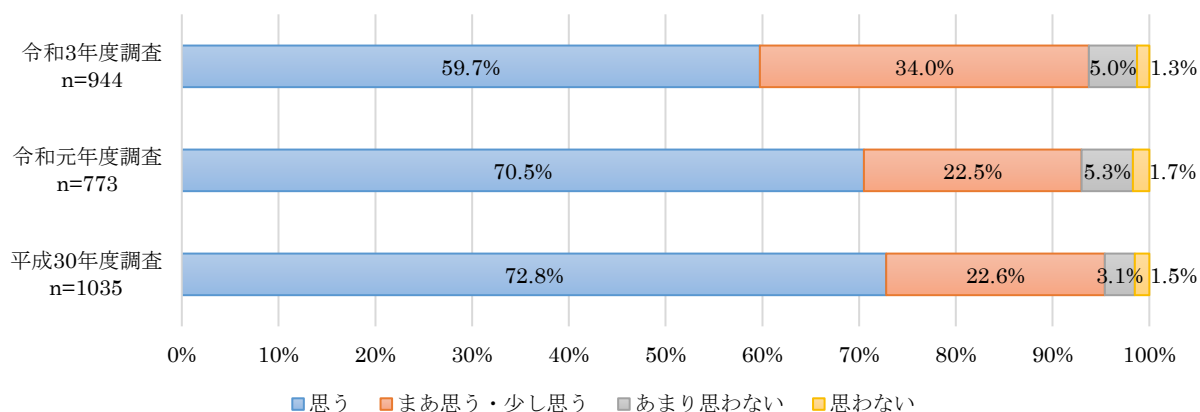
- ・ 日常生活における節電の意識については、「大変意識している」が 48.3%、「ある程度意識している」が 40.6%であった。
- ・ 「あまり意識していない」は 8.4%、「まったく意識していない」は 2.8%しか見られず、節電への意識の高さを把握できた。



日常生活の中で、節電を意識している市民の割合
(3カ年での経年比較)

【問 24】

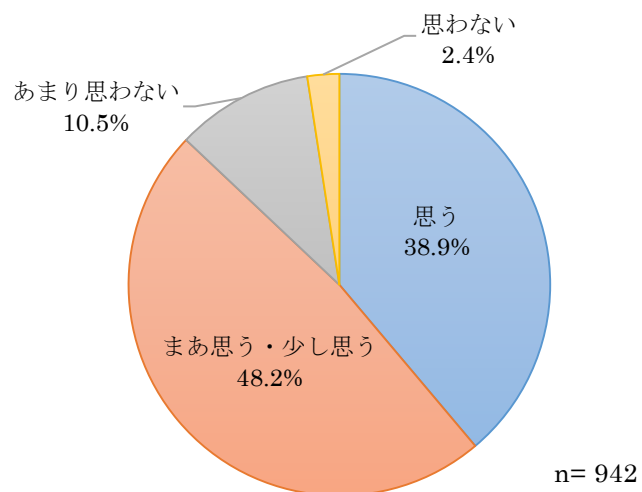
- ・ 水道水の安定供給が行われていると思うかについては、「思う」が 59.7%で最も多く、次いで「まあ思う・少し思う」が 34.0%であった。
- ・ 「あまり思わない」は 5.0%、「思わない」は 1.3%しか見られず、水道水の安定供給に対して高い評価が得られた。



水道水の安定供給に対する満足度
(3カ年での経年比較)

【問 25】

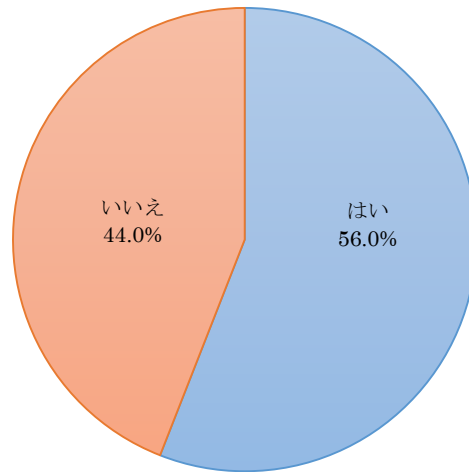
- ・ 大雨時においても安心・安全な生活が確保されていると思うかについては、「思う」が38.9%、「まあ思う・少し思う」が48.2%であり、合計すると87.1%となった。
- ・ 「あまり思わない」は10.5%、「思わない」は2.4%であり、浸水対策に関して評価する回答のほうが多かった。



大雨時においても安全・安心な生活が確保されていると思う市民の割合

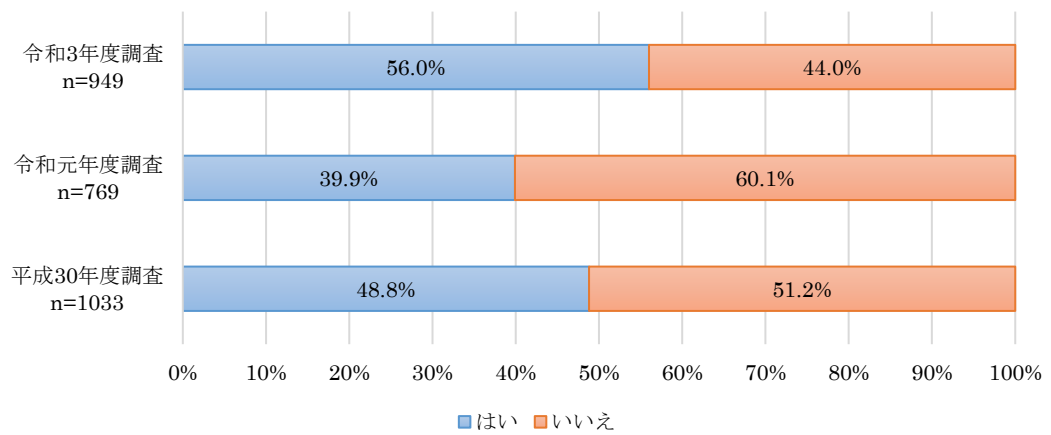
問26. 花植え、美化・清掃活動への参加・協力の経験はあるか（一つだけ選択）

- ・ 花植え、美化・清掃活動への参加・協力の経験はあるかについては、「はい」が56.0%で、「いいえ」の44.0%を上回った。



n= 949

美化・清掃活動への参加・協力の状況

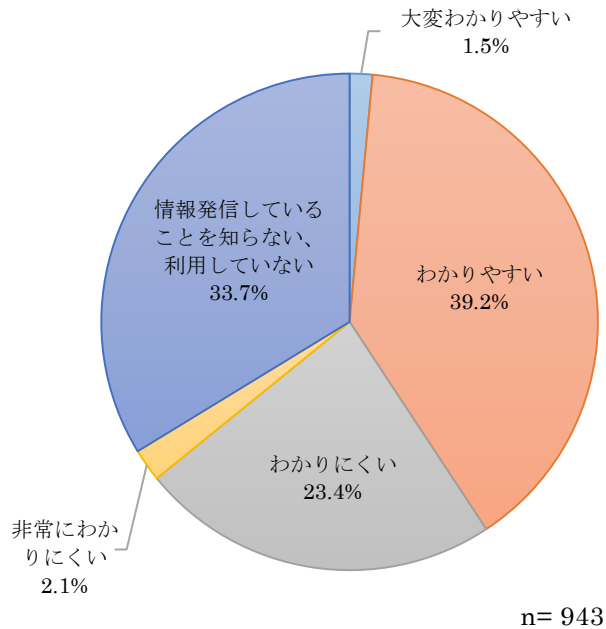


美化・清掃活動への参加・協力の状況（3カ年での経年比較）

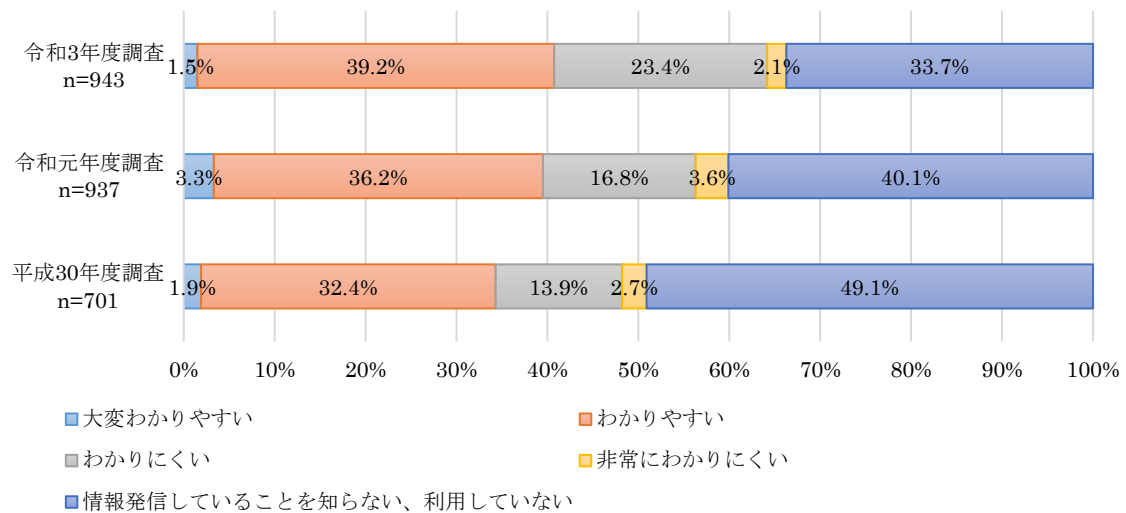
7) 行政サービス、協働について

問27. 恵庭市のホームページのわかりやすさ（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市のホームページのわかりやすさについては、「わかりやすい」が 39.2%で最も多く、「情報発信していることを知らない、利用していない」が 33.7%と2番目に多かった。
- ・ 「わかりにくい」は 23.4%、「非常にわかりにくい」は 2.1%であり、「情報発信していることを知らない、利用していない」を除いた否定側の回答は 25.5%と肯定側を下回った。



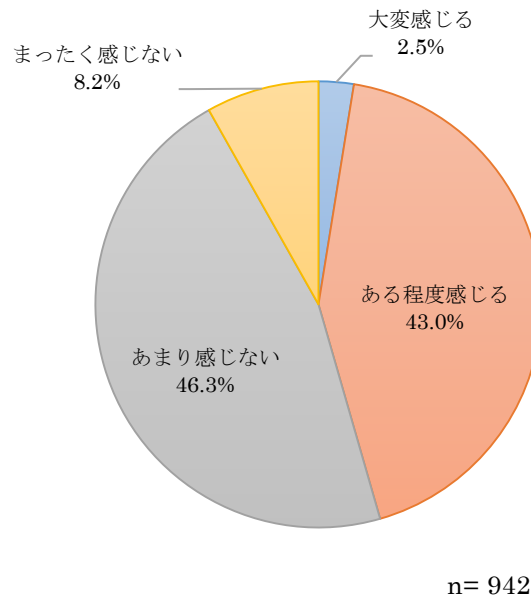
恵庭市のホームページに対する評価



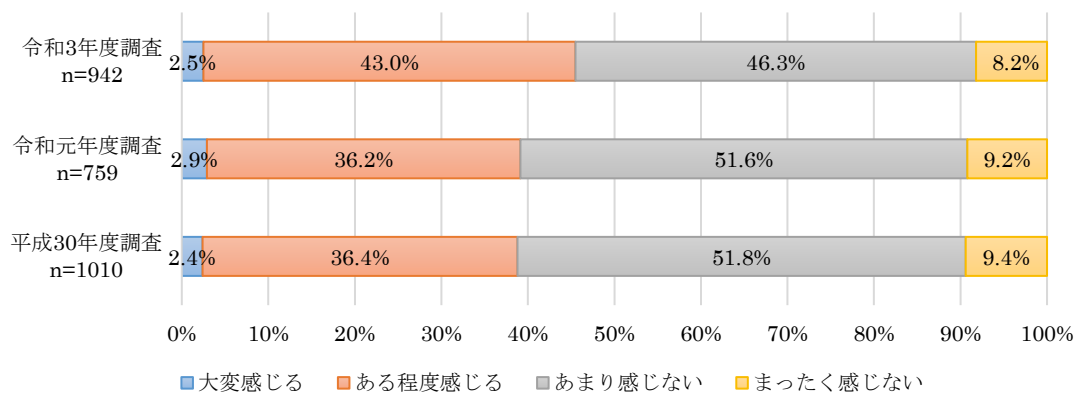
恵庭市のホームページに対する評価（3カ年での経年比較）

問28. 恵庭市の行政運営について（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じているかについては、「あまり感じない」が46.3%で最も多かった。
- ・ 「大変感じる」は2.5%、「ある程度感じる」は43.0%となっており、行政運営の内容が市民にうまく行き届いていない状況が確認できた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「大変感じる」と「ある程度感じる」を合わせた割合は平成30年度調査が38.8%、令和元年度調査が39.1%、令和3年度調査が45.5%といずれも過半数を下回っているものの、行政運営の透明性への評価する割合は増加している。



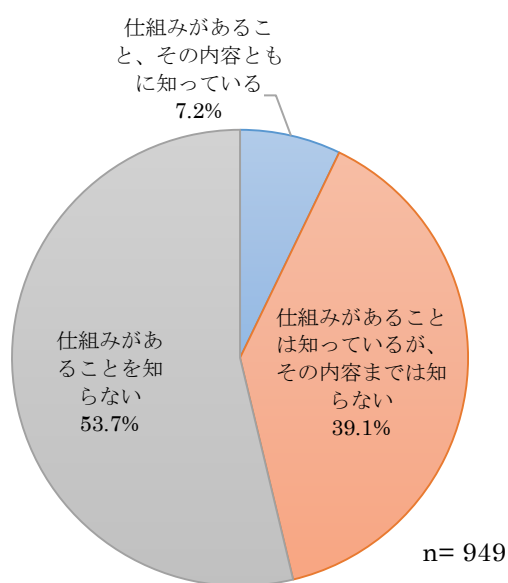
恵庭市の行政運営における透明性への評価



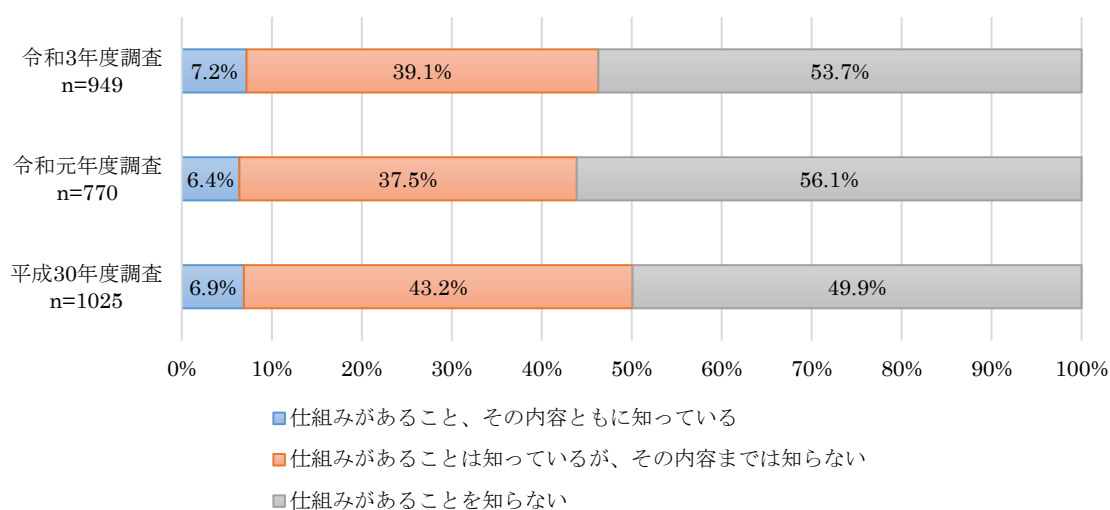
恵庭市の行政運営における透明性への評価（3カ年での経年比較）

問29. 恵庭市政に関する仕組みについて（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることの認知については、「仕組みがあることを知らない」が53.7%で最も多かった。
- ・ 「仕組みがあること、その内容ともに知っている」は7.2%しか見られず、行政への市民参画があまり進んでいない状況が確認できた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「仕組みがあること、その内容ともに知っている」と「仕組みがあることは知っているが、その内容までは知らない」を合わせた割合は平成30年度調査が50.1%、令和元年度調査が43.9%、令和3年度調査が46.3%と全体の4割～5割程度で推移している。



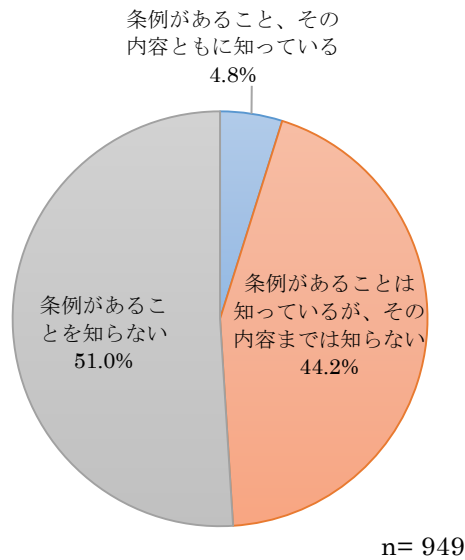
市民の声を反映させる仕組みがあることへの認識



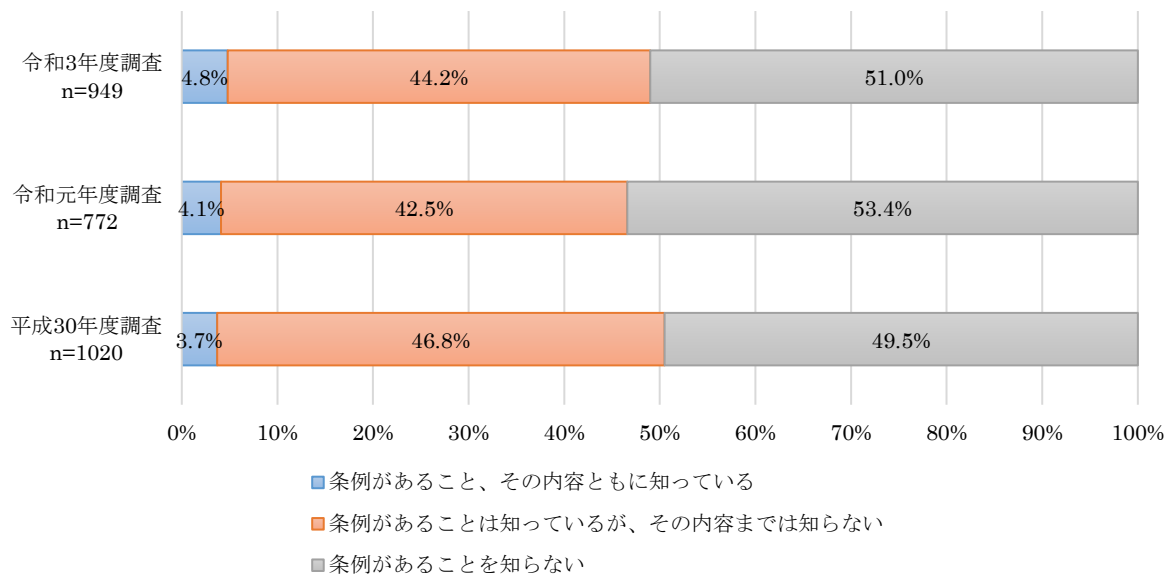
市民の声を反映させる仕組みがあることへの認識（3カ年での経年比較）

問30. まちづくり基本条例の認識（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市まちづくり基本条例について、「条例があることを知らない」が51.0%で最も多く、「条例があること、その内容とも知っている」は4.8%と少数であった。
- ・ 「条例があることは知っているが、その内容までは知らない」は44.2%であり、「条例があることを知らない」の51.0%を下回った。



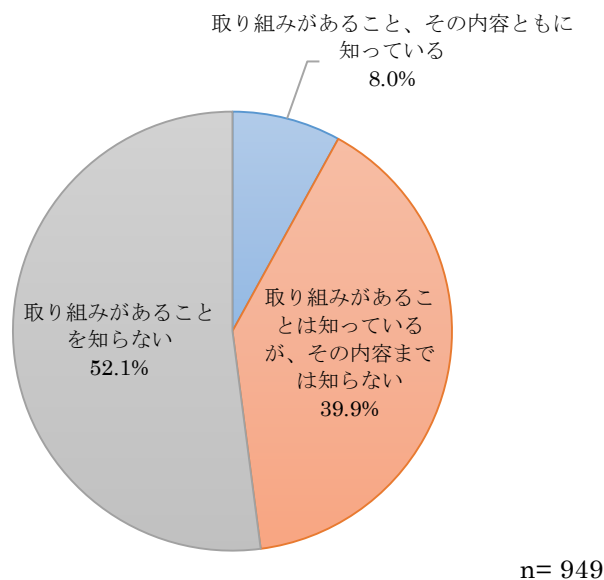
まちづくり基本条例に対する認識



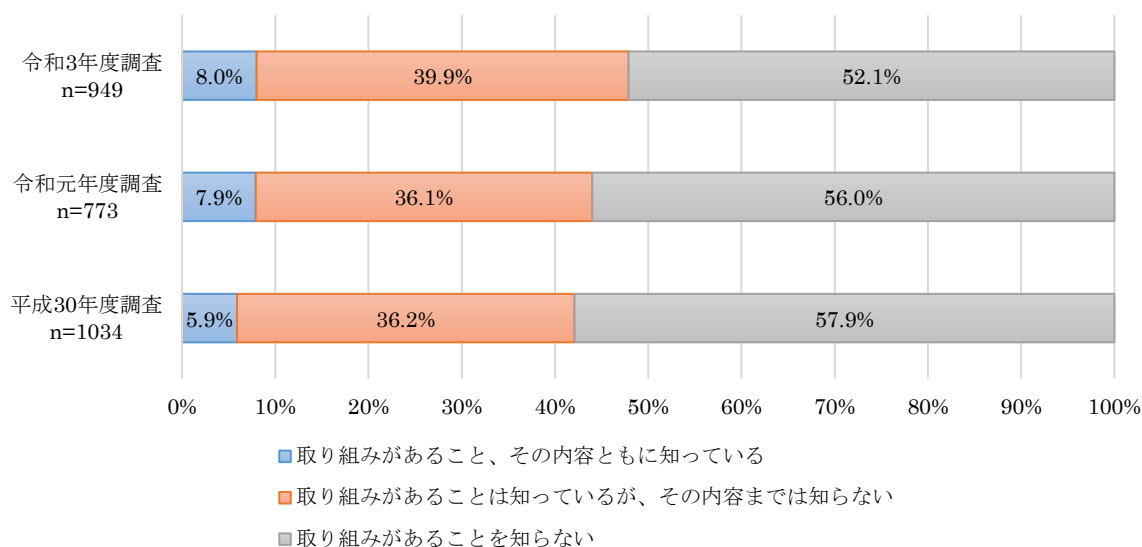
まちづくり基本条例に対する認識（3カ年での経年比較）

問31. 男女共同参画社会への認識（一つだけ選択）

- ・ 男女共同参画社会への取り組みに対しては、「取り組みがあることを知らない」が52.1%で最も多く、次いで「取り組みがあることは知っているが、その内容までは知らない」が39.9%であった。
- ・ 「取り組みがあること、その内容ともに知っている」は8.0%しか見られなく、増減も令和元年度比で+0.1%とほぼ横ばいである。



男女共同参画社会の取り組み

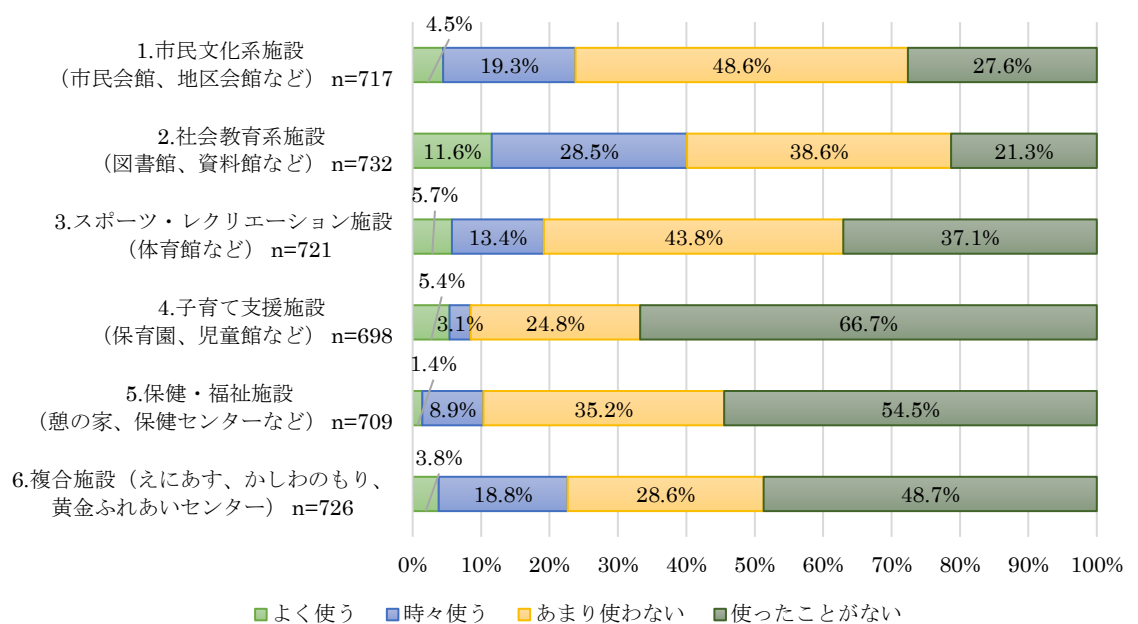


男女共同参画社会の取り組み（3カ年での経年比較）

8) 公共施設について

問32. 公共施設の利用（一つだけ選択）

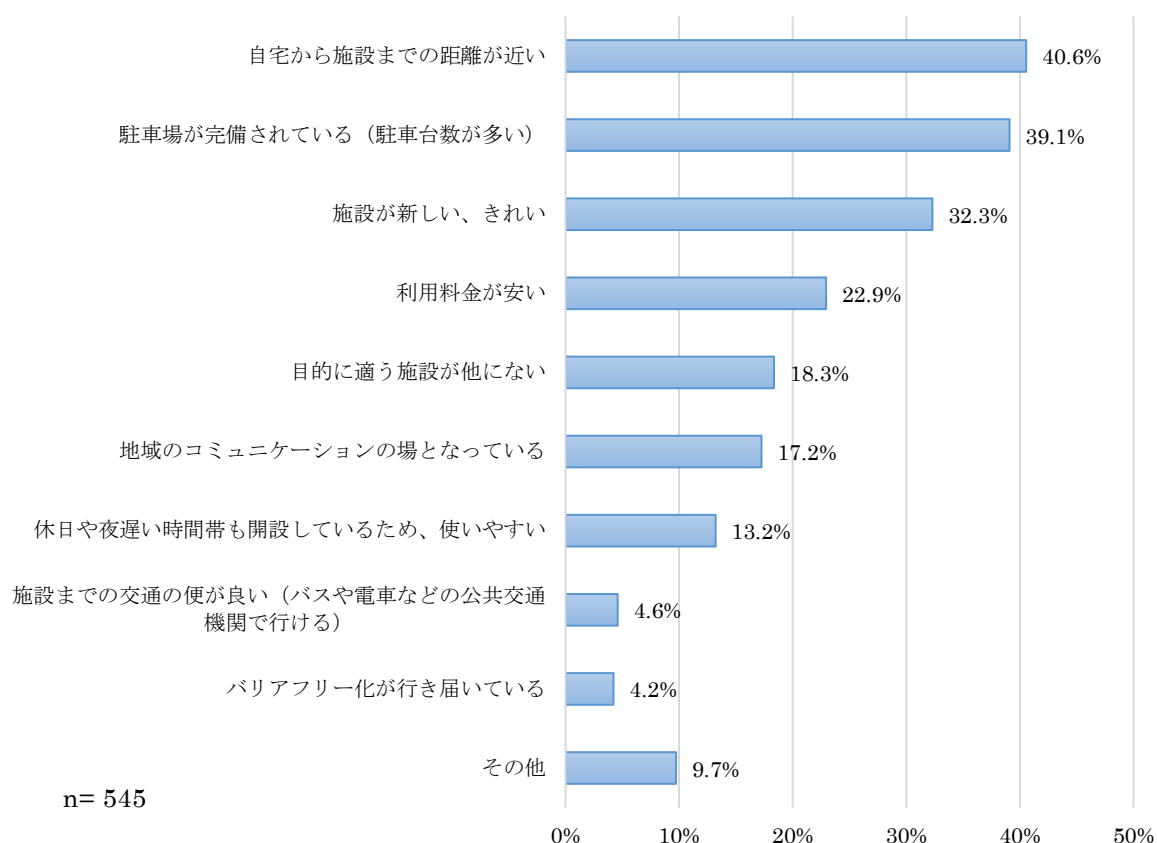
- ・ 恵庭市の公共施設の日頃の利用状況については、市民文化施設は「あまり使わない」が48.6%で最も多く、「使ったことがない」も27.6%と利用する人の割合が少ない状況であった。
- ・ 社会教育系施設は、「あまり使わない」の38.6%が最も多いものの、次いで「時々使う」の28.5%が2番目に多く、設定した6つの公共施設のなかで「よく使う」と「時々使う」の全体に占める割合が最も多かった。
- ・ スポーツ・レクリエーション施設は、「あまり使わない」が43.8%、「使ったことがない」も37.1%とほぼ同数を示し、利用する人の割合が少ない状況であった。
- ・ 子育て支援施設は、「使ったことがない」が66.7%で最も多く、次いで「あまり使わない」が24.8%と、設定した6つの公共施設のなかで最も利用する人の割合が少なかった。
- ・ 保健・福祉施設は、「使ったことがない」が54.5%で最も多く、「あまり使わない」が35.2%と続き、利用する人の割合が少ない状況であった。
- ・ 複合施設は、「使ったことがない」が48.7%で最も多く、「あまり使わない」が28.6%と利用する人の割合が少ない状況であった。



公共施設の利用状況

問33. 公共施設を利用する理由（すべて選択）

- ・ 問 32 で公共施設を「よく使う」、「時々使う」と回答した人に、利用する理由を聞いたところ、「自宅から施設までの距離が近い」が 40.6%で最も多く、次いで「駐車場が完備されている（駐車台数が多い）」が 39.1%と、アクセス性に関する内容が上位となった。
- ・ 続いて「施設が新しい、きれい」が 32.3%、「利用料金が安い」が 22.9%と他の施設との比較に関する内容が続いた。
- ・ 最も少なかったのは「バリアフリー化が行き届いている」が 4.2%であり、「施設までの交通の便が良い（バスや電車などの公共交通機関で行ける）」も 4.6%と少数だった。



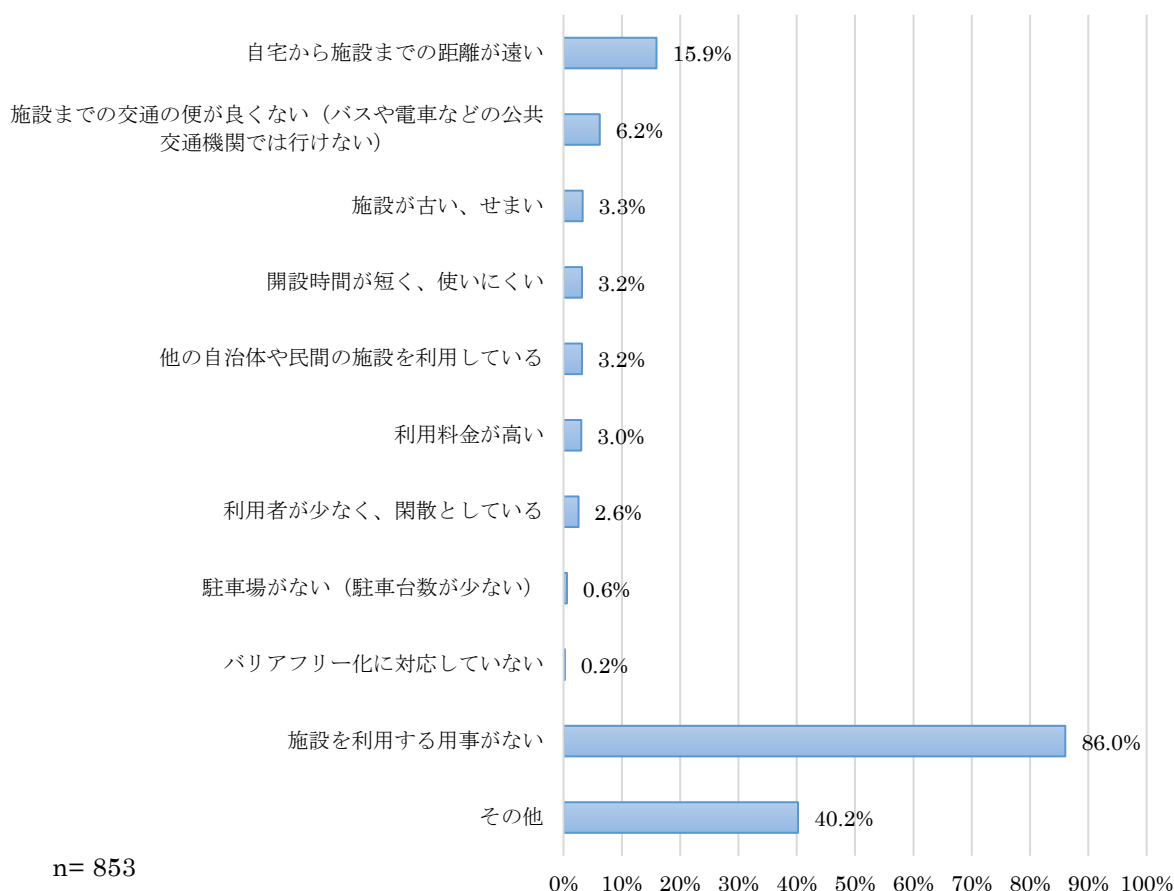
恵庭市の公共施設を利用する理由

<その他の主な内容>

- ・ 「読書の場として」、「仕事で利用」、「趣味（スポーツを含む）」など。

問34. 公共施設を利用しない理由（すべて選択）

- ・ 問 32 で公共施設を「あまり使わない」、「使ったことがない」と回答した人に、利用しない理由を聞いたところ、「施設を利用する用事がない」が最も多く、次いで「自宅から施設までの距離が遠い」が 15.9%、「施設までの交通の便が良くない（バスや電車などの公共交通機関では行けない）」が 6.2%と、アクセスに関する内容が多かった。
- ・ 最も少なかったのは「バリアフリー化に対応していない」が 0.2%であり、「駐車場がない（駐車台数が少ない）」も 0.6%と、ほとんど問題にはあげられなかった。
- ・ 「その他」の内容としては、「利用方法がわからない」「時間がない」といった意見が多く見られた。



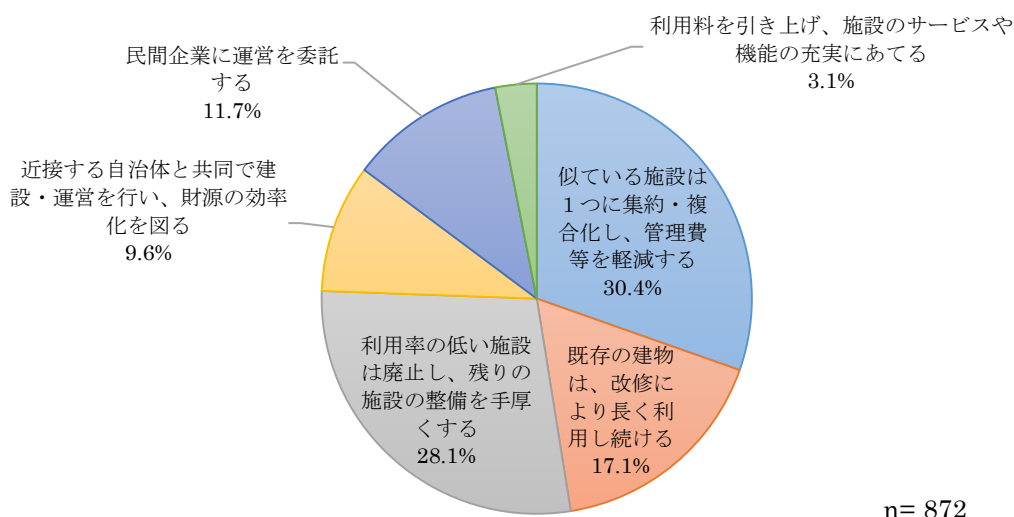
恵庭市の公共施設を利用しない理由

<その他の主な内容>

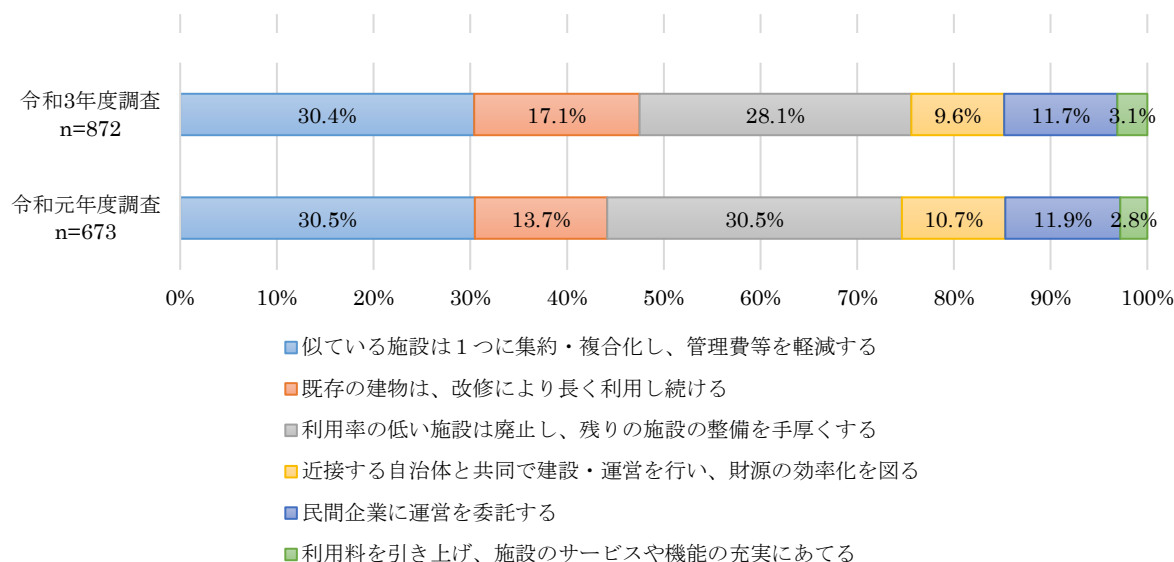
- ・ 「利用方法がわからない」、「時間がない」、「どのような施設かわからない」など。

問35. 公共施設の整備（一つだけ選択）

- ・ 既存の公共施設を維持するのが難しいなかで、どのように整備するのが望ましいかを聞いたところ、「似ている施設は1つに集約・複合化し、管理費等を軽減する」が30.4%と最も多く、次いで「利用率の低い施設は廃止し、残りの施設の整備を手厚くする」が28.1%と多かった。
- ・ 「利用料を引き上げ、施設のサービスや機能の充実にあてる」が3.1%で最も少なく、全体としては施設の統廃合への支持が高く、利用料の増額は共感が得られなかった。



公共施設の整備に関して望ましいと思う方法



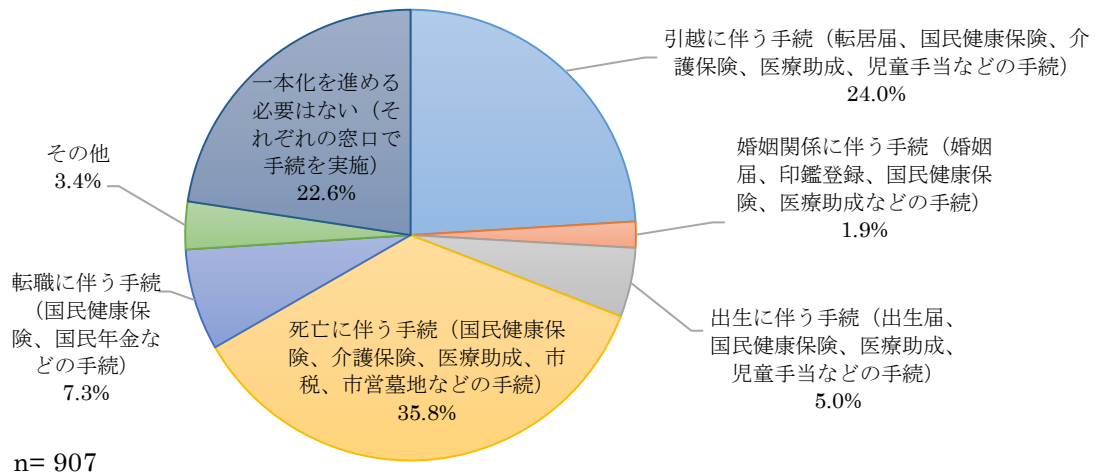
公共施設の整備に関して望ましいと思う方法（2カ年での経年比較）

※当該設問は令和元年度より新設

9) 行政手続き・デジタル化・マイナンバーについて

問 36. 市役所窓口の一本化（一つだけ選択）

- 市役所窓口の一本化で優先して進めて欲しいものについて聞いたところ、「死亡に伴う手続」が35.8%で最も多かった。次いで多かったのが「引越に伴う手続」の24.0%と「一本化を進める必要はない（それぞれの窓口で手続を実施）」の22.6%で、この3つの選択肢で回答の8割程度を占めた。



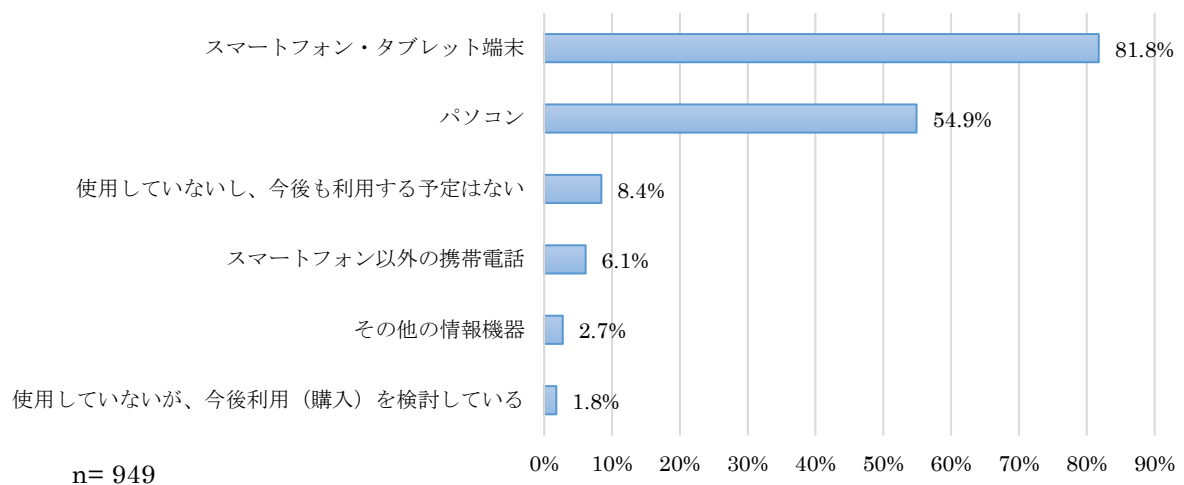
市役所窓口の一本化で優先して進めて欲しいもの

<その他の主な内容>

- 「よくわからない」、「まとめて進めるべき」など。

問 37. 使用できるインターネット情報機器について（すべて選択）

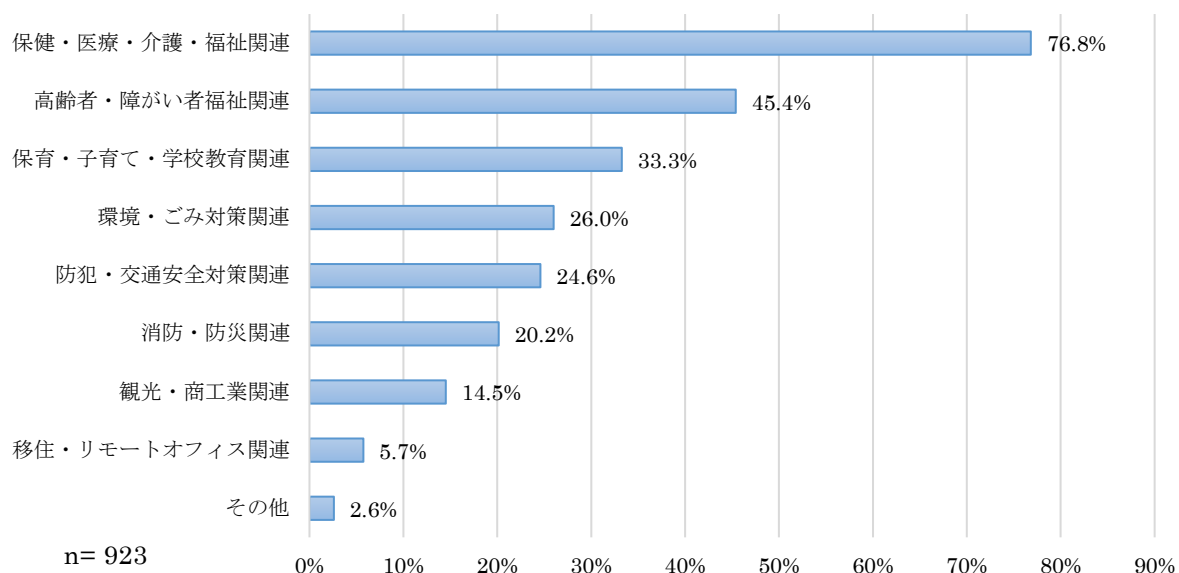
- 自身で使用できるインターネット情報機器について聞いたところ、「スマートフォン・タブレット端末」が81.8%で最も多く、次いで多かったのが「パソコン」の54.9%だった。
- 「使用していないし、今後も利用する予定はない」は8.4%、「使用していないが、今後利用（購入）を検討している」が1.8%だった。



自身で使用できるインターネット情報機器

問 38. ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野（3 つまで選択）

- ・ ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野について聞いたところ、「保健・医療・介護・福祉関連」が 76.8%で最も多かった。
- ・ 「観光・商工業関連」は 14.5%、「移住・リモートオフィス関連」は 5.7%と低く、経済分野より、福祉分野での活用希望が多いことが分かった。



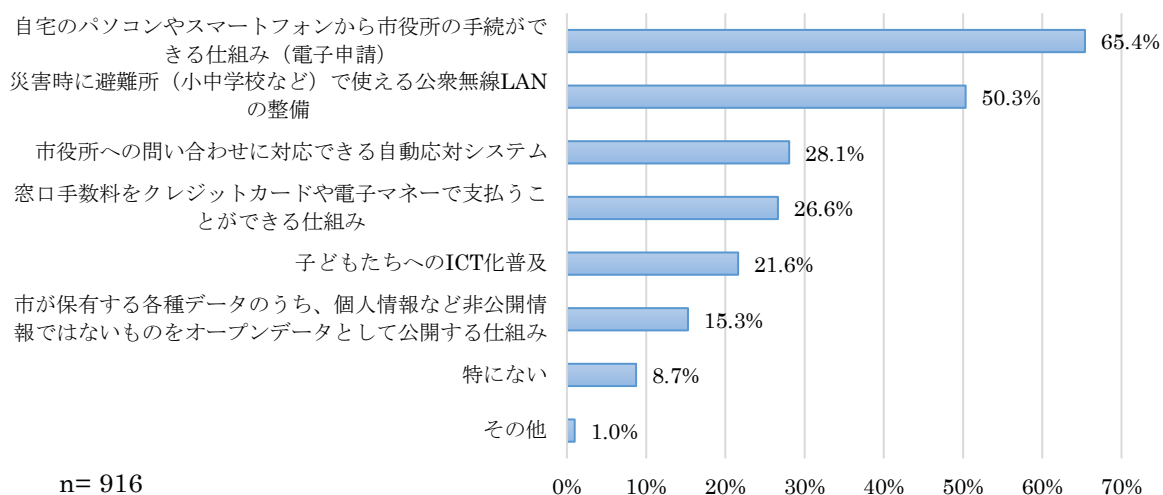
ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野

<その他の主な内容>

- ・ 「よくわからない」、「利用不可能な人への配慮が必要」など。

問 39. 充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービス（すべて選択）

- ・ 充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービスについて聞いたところ、「自宅のパソコンやスマートフォンから市役所の手続きができる仕組み」が 65.4%で最も多く、次いで、「災害時に避難所（小中学校など）で使える公衆無線 LAN の整備」が 50.3%だった。
- ・ 「特にない」は 8.7%で、全体の 1 割に満たなかった。



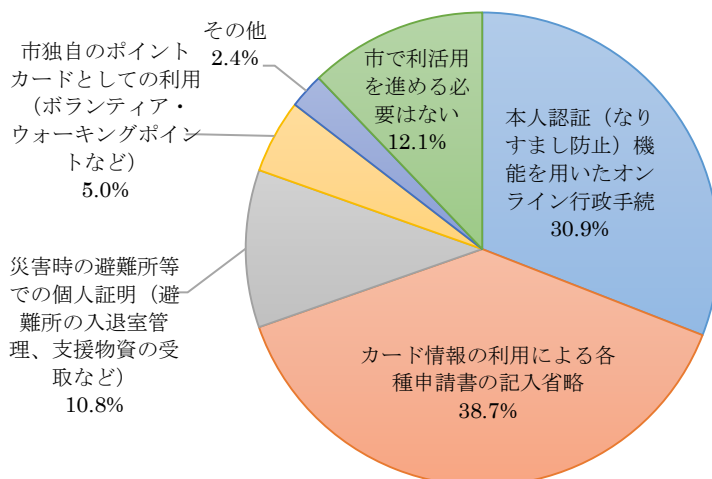
充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービス

<その他の主な内容>

- ・ 「よくわからない」、「(ICT) が使えない人はどうするのか」など。

問 40. マイナンバーカードの利活用（一つだけ選択）

- ・ ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野について聞いたところ、「カード情報の利用による各種申請書の記入省略」が 38.7%で最も多く、次いで「本人認証（なりすまし防止）機能を用いたオンライン行政手続」の 30.9%が多かった。
- ・ 「市で利活用を進める必要はない」は 12.1%で、回答者の全体の 1 割程度が市でマイナンバーカードの利活用を進める必要はないと思っていることがわかった。



n= 873

マイナンバーカードの利活用を優先して進めて欲しいこと

<その他の主な内容>

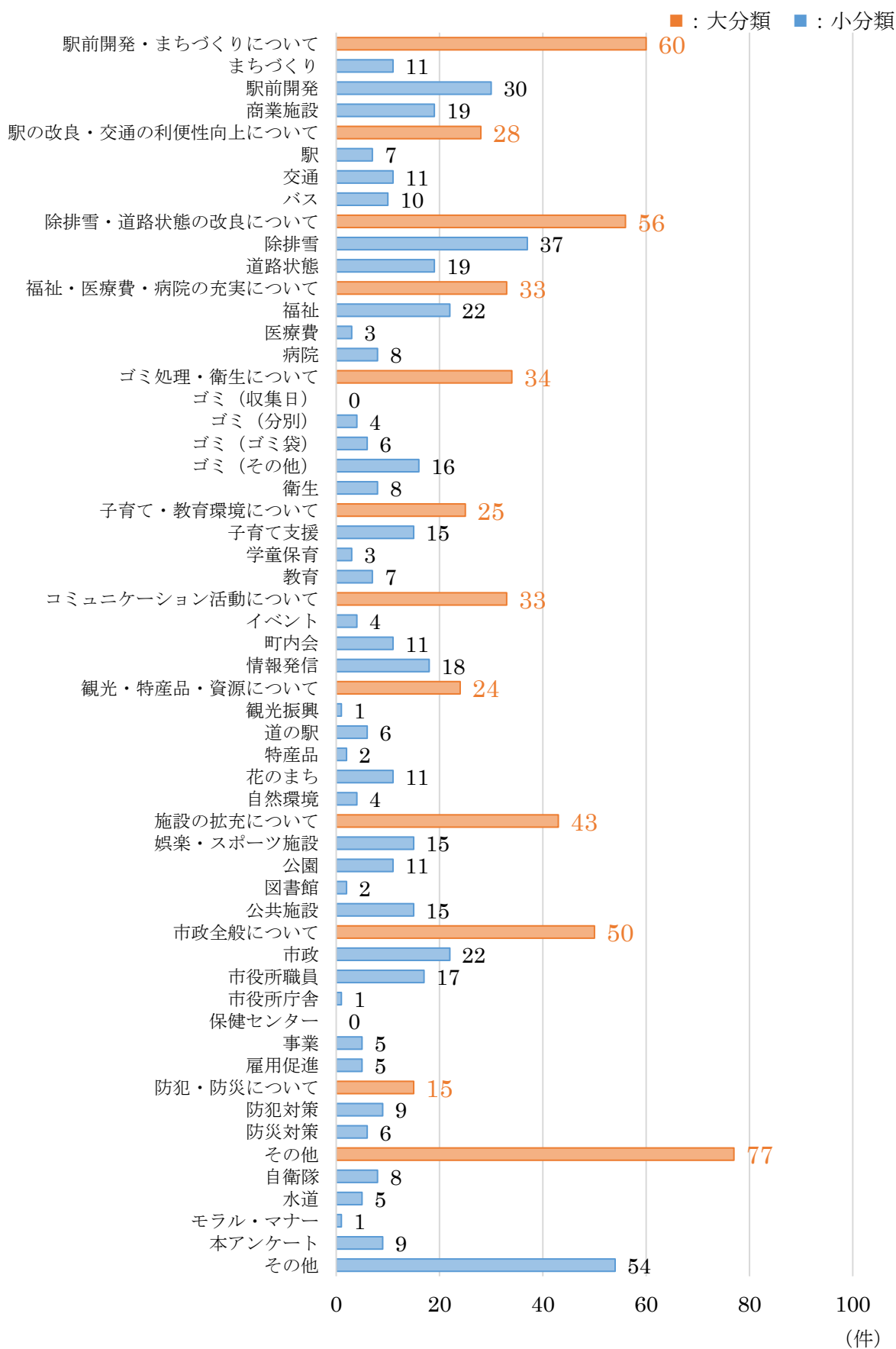
- ・ 「よくわからない」、「マイナンバーカードは不要」など。

問 41. 市政全般についての意見（自由回答）

- ・ 市政全般に関する自由意見では 476 件の回答が得られ、意見は大分類で 12 分類、小分類で 44 分類して集計を行った（内容が多岐にわたるものは、複数回答として処理）。
- ・ 大分類では「その他」を除くと、「駅前開発・まちづくりについて」の意見が 60 件と一番多く、次いで「除排雪・道路状態の改良について」の意見が 56 件と多かった。
- ・ 大分類で一番多かった「駅前開発・まちづくりについて」の中では、小分類「駅前開発」に関する意見が 30 件と多く、恵み野駅前の大型店の閉店後のまちづくりや、島松駅周辺の再開発に関する記述が見られた。
- ・ 大分類で二番目に多かった「除排雪・道路状態の改良について」の中では、小分類「除排雪」に関する意見が 37 件と多く、これは小分類単体でみると、「その他」以外では一番多い意見だった。
- ・ 大分類でも小分類でも「その他」の件数が一番多かった。小分類の「その他」の具体的な内容は、今回新たに加えた設問である行政手続きや、デジタル化に関する意見が多く見られた。

市政全般に関する意見の分類表

大分類		小分類		大分類		小分類	
1	駅前開発・まちづくりについて	1	まちづくり	8	観光・特産品・資源について	23	観光振興
		2	駅前開発			24	道の駅
		3	商業施設			25	特産品
2	駅の改良・交通の利便性向上について	4	駅			26	花のまち
		5	交通			27	自然環境
		6	バス	9	施設の拡充について	28	娯楽・スポーツ施設
3	除排雪・道路状態の改良について	7	除排雪			29	公園
		8	道路状態			30	図書館
4	福祉・医療費・病院の充実について	9	福祉			31	公共施設
		10	医療費	10	市政全般について	32	市政
		11	病院			33	市役所職員
5	ゴミ処理・衛生について	12	ゴミ(収集日)			34	市役所庁舎
		13	ゴミ(分別)			35	保健センター
		14	ゴミ(ゴミ袋)			36	事業
		15	ゴミ(その他)	37	雇用促進		
6	子育て・教育環境について	16	衛生	11	防犯・防災について	38	防犯対策
		17	子育て支援			39	防災対策
		18	学童保育	12	その他	40	自衛隊
19	教育	41	水道				
7	コミュニケーション活動について	20	イベント			42	モラル・マナー
		21	町内会			43	本アンケート
		22	情報発信	44	その他		



市政全般に関する意見の分類結果